

2024 年度版 学部共通科目 履修の手引き

この手引き書は、学部共通科目の履修を検討するみなさんに科目選択の便を提供する目的で作られたものです。

学部共通科目とは、学生便覧にあるとおり、「専攻分野の学修を補完する目的で、他専攻における関連分野の学修も視野に入れ、専門分野・領域の幅を広げることを目的とした科目」であり、卒業論文を執筆するにあたっての基本的な方法論やディシプリンを学ぶことのできる科目群、他専攻の国・地域に関連した専攻分野を学ぶことのできる科目群です。

形式的には「方法論科目」「特設科目」「地域系科目」という3種類に分かれていますが、ここでは内容によっておおきく「A. 方法論・ディシプリン」と「B. 専攻語国・地域」というカテゴリーを設け、前者をさらに5つのサブカテゴリーに分けて、基本情報を一覧化しました。

A. 方法論・ディシプリン

- (1) 言語・言語学・言語教育
- (2) 文学・文化
- (3) 社会科学
- (4) 調査法・アカデミックライティング・異文化理解
- (5) 豊中開講

B. 専攻語国・地域

なお、高度教養教育科目には地域系科目と類似の授業、地域系科目の概論 a とセットである b が登録されているものもあります。併せて参照してください。

この手引きを利用しながら自分にあった科目を見つけてください。みなさんの学修に役立つよう、学部共通科目のさらなる充実を図っていきます。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
------------	---------	-------	----------	------	------	------	----------

A. 方法論・ディシプリン

(1) 言語・言語学・ディシプリン							
101827	方法論	World English Seminar(E)	Dynamic Business English for your Future. All classes are onsite.	ネヴィル グリーニング	講義科目	英語	This business English course will focus on more in-depth business-related topics. It comprises 15 business lessons, a variety of other business activities and then a final exam. By the end of the course, students should be able to communicate more confidently in all aspects of business. They should also be able to make a presentation in English, speak accurately and fluently in business related topics.
101828	方法論	World English Seminar(F)	Business Leadership and Management Styles	ネヴィル グリーニング	講義科目	英語	<ul style="list-style-type: none"> Understand the key theories and models of leadership and management. Analyze the effectiveness of different leadership styles in various business scenarios. Develop leadership skills applicable to real-world business challenges. Cultivate a personal leadership style informed by best practices and self-awareness.
102144	方法論	English for Specific Purposes	Intercultural communication in practice	氏木 孝仁		日本語・英語	このコースでは、グローバルビジネスを通して異文化、英語について考究する。英語に必要な知識とスキルを身に付け、異文化間で適切かつ効果的に活動するための意識を高める。
101829	方法論	外国語教育(B)		箱崎 雄子		日本語	本授業では、小学校の英語教育を教科内容と教科指導の両面から考察します。受講生が、小学校における外国語（英語）教育の意義と目的、授業展開に必要な指導理論や言語習得理論、課題と展望などについての理解を深めることを目的とします。
101846	方法論	外国語教育(F)	日本語初級教材分析	荒島 和子	講義科目	日本語	教材分析が必要となる日本語教育の基礎知識（日本語教育の現状、教授法、コース・デザイン、教材）を学び、初級で用いられる教材を分析する力を養う。
101847	方法論	外国語教育(G)	多文化共生と日本語教育	宮崎 玲子	講義科目	日本語	現代の日本には、多様な文化的・言語的背景を持つ人々が暮らしており、今後も増加していくことが予想されます。また、「日本語教育の推進に関する法律」が成立するなど、日本語教育も重要性を増しつつあります。この授業では、「多文化共生」という観点から日本語教育について考えたいと思います。また、グループディスカッションなどを通して、自文化を振り返りながら、異文化理解のために必要な知識やコミュニケーションスキルを学びます。
101849	方法論	外国語教育(E)	教育活動のための心理学①	大塚 結喜	講義科目	日本語	教育活動や言語学の研究を行なうためには、ヒトの心や行動について理解することが重要であり、そのために心理学を学ぶことは必要不可欠である。本講義の目的は、言語教育などの教育活動に携わることを目指す学生が、心理学の概論的知識を修得することである。具体的には、認知心理学を中心に、知覚・言語・注意・記憶といった認知機能の基本的なメカニズムについての知識を身に付け、さらに各機能と脳との関連性も理解することを目的とする。
101850	方法論	外国語教育(H)	教育活動のための心理学②	大塚 結喜	講義科目	日本語	教育活動や言語学の研究を行なうためには、ヒトの心や行動について理解することが重要であり、そのために心理学を学ぶことは必要不可欠である。本講義の目的は、言語教育などの教育活動や言語学の研究に携わることを目指す学生が、心理学の概論的知識を修得することである。具体的には、発達心理学を中心に、発達障害についての知識を身に付け、さらに脳の構造や発達の過程も理解することを目的とする。
101851	方法論	外国語教育(I)	外国語教育（音声教育）	甲斐 朋子	講義科目	日本語	日本語に関する音声学・音声教育を中心に学ぶ。身近な日本語と受講者の専攻語とを対照的に捉えることによって、外国語としての日本語と専攻語について理解を深める。
101852	方法論	外国語教育(I)	外国語教育（音声教育）	甲斐 朋子	講義科目	日本語	日本語教育における音声を通じた言語活動「聞く」「話す」について学ぶ。 ・外国語としての日本語、受講者の専攻語等における外国語学習を念頭に置きながら、「聞く」「話す」ための言語学習を支援する視点を身につける。
101853	方法論	外国語教育(C)	日本語初級文法	本行 沙織		日本語	この授業は、日本語を母語として話す学生を対象とした、初級日本語文法の授業です。日本語を母語としない人（日本語非母語話者）がどのように日本語文法を学んでいくかを知り、日本語教育に明るい一市民になっていただきたいと思います。この授業では毎回違うメンバーで少人数のグループを作り、共同してタスクに取り組みます。
101855	方法論	外国語教育(A)	日本語とロシア語における言語行動	プロコピエヴァ マリア	講義科目	日本語	この授業では、まず、言語行動（感謝、勧誘、依頼、など）を言語学の概念の一つとして取り上げ、基礎知識を身に付ける。日本語とロシア語を中心に、様々な言語におけるこれらの言語行動の共通点と相違点に着目することで日本語に関する知識を深めると同時に、対人コミュニケーションにおける言語行動の果たす役割を理解することを目的とする。
101863	方法論	言語学の基礎(F)	認知文法の基礎	田中 太一	講義科目	日本語	認知言語学における主要理論の一つである認知文法の基礎を掘り下げる。特に認知文法に対する様々な誤解を晴らすことや、いわゆる第二期認知文法の展開を巡ることを目的とする。
101864	方法論	言語学の基礎(G)	文法研究の方法	田中 太一	講義科目	日本語	文法研究についてメタ的な視点から検討し、どのような研究方法ありうるのかを考える。具体的な事例として日本語の受身文法を多く取り上げる。
101805	方法論	言語学概論(D)	受動構文のナゾに迫る	人見 友章	講義科目	日本語	「窓が開いている」という表現は、ロシア語では過去分詞形を使った«Окно открыто.»で表現され、これは文法的には立派な受動構文として分類される。しかし、意味的に見た場合には、「窓が開いている」とは、単に「窓が開いている」という窓の状態を言っているのであって、どうみてもそこに受動の意味が表現されているとは言いがたい。つまり、受動構文でありながら、受動の意味が表現されていないのである。こういった現象は、何もロシア語だけに観察される現象ではない。 この授業では、日常生活における身近な言語現象の一つである受動構文を取り上げ、なぜこういった形態と意味と生じるのか、なぜ受動構文とは異なる受動構文が必要なのか、今まで意識もせずなんとなく使っていた受動構文をあえて意識して考え、受動構文の謎に迫るのが、この授業の目的である。
102178	方法論	言語学概論(F)	音声学・音韻論入門	山岡 翔	講義科目	日本語	言語の学習/研究にはその言語の音についての理解が欠かせない。しかし、音は普通目に見えないし、発した途端消えてしまうもので、理解するに当たっては厄介である。そこで、この授業では音声学・音韻論の基礎について学ぶことで、言語音について理解するための素養を身に付ける。
10B757	地域系	言語学概論	言語学概論	教員未定	講義科目	日本語	この授業では、日本語に関わる問題を取り上げながら、基礎的な言語学を網羅的に概説します。具体的には、言語学の下位分野である音声学（音韻論）、形態論、統語論、意味論、語用論などを中心に、言語を研究するとどうということなのか理解してもらいます。
10C134	地域系	言語学講義a	言語変化	金谷 由美子	講義科目	日本語	言語変化というキーワードで、さまざまな現象を観察することによって、言語に対する知識・関心を深めることを目的とする。担当者が扱う言語は、主として日本語、韓国語、英語、中国語である。
10C135	地域系	言語学講義b	名詞句の意味論・語用論；指示参照ファイル理論and/orN-意味理論	山泉 実	講義科目	日本語	近年日本で生まれた名詞句の意味論・語用論理論である指示参照ファイル理論（及びそれと対する認知形而上学とその応用である視座俯瞰認知メタ形而上学、以下略）を0から学び、それを使いこなせるようになる。 +それを発展させることができるようになる。 +指示参照ファイル理論の分析と、N-意味理論の分析を比較できるようになる。 +それによって、理論研究のやり方、進展の仕方を理解する。 以下のような内容（の一部かも）を扱う予定 指示参照ファイル理論の基礎 認知的視座からの意味論と形而上学 指示参照ファイルのデータ構造 視座俯瞰認知メタ形而上学 名詞句意味論の天動説と地動説：N-意味理論と指示参照ファイル理論 名詞句の“自由拡充”再考 名詞述語文 潜伏疑問名詞句 潜伏命題名詞句 “変項名詞句”の階層再考 等位複合体とそれを主要部とする名詞句の意味論と形態論

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
(2)文学・文化							
101801	方法論	世界文学・文化論	世界文学・文化論	井上 さゆり、 永原 順子、 岡本 淳子、 岡本 太助、 宮下 遼、 山根 聡、 松本 健二、 霜田 洋祐、 村 長穂、 長崎 広子、 畑田 美緒、 福田 義昭、 北岡 志織、 北田 信、 劉 文兵	講義科目	日本語	本授業はもともと大学院言語文化研究科言語社会専攻および日本語日本文化専攻の大学院生のために開講した「世界文学研究」と「ポストモダン文化論」を統合した科目である。専門分化が顕著な昨今の研究に対し、さまざまな地域の文学と文化に関する諸問題をリレー方式で講義し、院生諸君の専門とは異なる各国の文学事情や研究方法に触れ、専門分野に取り組む視野を広げることを目的とする。外国語学部と同様の趣旨の授業がないこともあり、外国語学部生との視野を広げてもらうことを目的として、平成28年度より、この授業を外国語学部生にも共通科目として受講できるようにした。
101831	方法論	文化概論(C)	社会的・文化的に探る英語の歴史	渡辺 拓人	講義科目	日本語	英語の語彙や他の言語との歴史的関係に注目し、英語の社会的・文化的背景について扱う。
101832	方法論	文化概論(D)	社会的・文化的に探る英語の歴史	渡辺 拓人	講義科目	日本語	近代以降の英語圏で生じてきた社会的・文化的出来事に注目し、英語の社会的・文化的背景について扱う。
101833	方法論	文化史(E)	映像で学ぶ英米文化	平川 和	講義科目	日本語	映画やドラマなどの映像作品を鑑賞し、英米文化に対する理解を深めるのを目的とする。映像作品を精緻に分析することで、現代文化や社会に対する批判的思考力を養い、作品に対する自分なりの解釈(意見)を持つことができるようになることを目指す。
101834	方法論	文化史(F)	映像で学ぶ英米文化	平川 和	講義科目	日本語	映画やドラマなどの映像作品を鑑賞し、英米文化に対する理解を深めるのを目的とする。映像作品を精緻に分析することで、現代文化や社会に対する批判的思考力を養い、作品に対する自分なりの解釈(意見)を持つことができるようになることを目指す。
101840	方法論	芸術史(F)	フランス近代美術史	山上 紀子	講義科目	日本語	この授業では、近代市民社会が成立し、価値観が激変した19世紀フランスにおいて、美術は現実社会とどのような接点をもったかという視点から美術史を学習します。19世紀フランス美術という、印象派やドラクロワがよく知られていると思いますが、巨匠に注目するだけでなく、その活動の背景をなす思想、社会現象、歴史条件などを意識して作品の意味を探り、激動する社会のなかで多様な体験や記憶が視覚化されたことを理解します。美術作品について社会的なコンテクストから考察できるようになることを目的とします。
101841	方法論	芸術史(I)	美術作品を読む	山上 紀子	講義科目	日本語	この授業では、毎回ひとつの美術作品を詳細に検討し、美術史の基礎を実践的に学習します。授業は基本的に講義形式で、古今の作品を見ながら説明を加えます。受講者は検討する作品をあらかじめ各々の言葉で記述したうえで授業に臨みます。授業をつうじて得られた発見や知識を踏まえて、再度作品と向き合うことで、主体的に作品の特徴や意味を論じられるようになるはずで、第一の目的は、美術作品を見る技術の基礎を見につけることです。作品の特徴を自分の言葉で説明できるようになることをめざします。そして、じっさいに作品分析を行う過程で、その作品がつくられた時代、社会背景に言及しつつ、作品の意味を考察する方法を理解することを第二の目的とします。
101858	方法論	芸術史(A)	オペラ史	岸 純信	講義科目	日本語	様々な文化の融合体たる「オペラ」の歴史を通じて学生諸君が「文化比較」の視点を確立すること。多くの言語によるオペラ存在意義を、文化面から検証します。
101859	方法論	芸術史(B)	オペラ史	岸 純信	講義科目	日本語	様々な文化の融合体たる「オペラ」の歴史を通じて学生諸君が「文化比較」の視点を確立すること。多くの言語によるオペラ存在意義を、文化面から検証します。
101866	方法論	文化史(A)	科学史概論：科学的知識とその方法論の誕生について	但馬 亨		日本語	現在社会において普遍的な知識体系として定着している自然科学はヨーロッパにその起源をもつ。本講義ではこの体系が神学や哲学といった体系から切り離され、自発的発展を遂げる17世紀に焦点を当て、米国の科学史家・哲学者であったトーマス・クーンによるパラダイム論を用いつつ、科学研究の歴史的変遷について概説していく。また、主として数学や物理学、生物学などのトピックを取り扱うことになるが、思想史・哲学史等の知識も科学の誕生において重要な要素であるので、これらの問題も論じていく予定である。
101923	方法論	文学概論	演劇史	垣沼 詢子	講義科目	日本語	古今東西、演劇は様々な社会制度の中で誕生し、変化しながら今に続いている。演劇史を知ることには、様々な文化を知ることであり、異文化交流について、また文化の変容について考えることでもある。この講義では、紀元前から現代まで、古今東西の多種多様な演劇の歴史・作品・理論の基礎的な知識を確認し、演劇史の流れを概観する。それらが生み出された時代背景を学ぶとともに、現代的観点から、それらの意義を考える。特に歴史的な作品が現代化され、同時代の問題として継承されていく様を確認し、文化の扱いをめぐる主要な議論を身に付ける。文化の誕生、展開、交流、継承、現代化といった、現在の私たちを取り巻く課題について、自ら考えてもらいたい。演劇に限らず受講生が今後出会う様々な文化に対し、考えるための視点を育てようになることが、授業の大きな目的である。
(3)社会科学							
101872	方法論	国際関係史(A)	戦後国際秩序の生成および展開と日本	白井 聡	講義科目	日本語	戦後の国際秩序はどのようにして生まれたのか、またどのような経緯を経て現在の大変動に至ったのか。そしてこの経過のなかで戦後日本を考察することを目標とする。
101952	方法論	グローバル地域社会論a	グローバル地域社会論	岡田 友和、 宮下 遼、 宮脇 聡史、 酒井 裕美、 松村 智雄、 菅原 由美、 清水 政明、 村上 忠良、 池田 一人、 日向 伸介	演習科目	日本語	地域研究は、特定の国家、または特定の「地域世界」単位での分析に焦点を置く従来型のものから、昨今のグローバルな人の動きに注目し、対象地域の枠組みをより柔軟に捉え、「比較」と「歴史」という分析手法を積極的に取り入れた研究をおこなう必要性が生じている。本授業では、そうした必要性を踏まえた上で、地域研究において共通論点を提供する重要な先行研究の文献を講読し、議論をおこなう。複数の教員による集団的研究指導を行う。
101953	方法論	グローバル地域社会論b	グローバル地域社会論	岡田 友和、 宮下 遼、 宮脇 聡史、 菅原 由美、 清水 政明、 村上 忠良、 池田 一人	演習科目	日本語	地域研究は、特定の国家、または特定の「地域世界」単位での分析に焦点を置く従来型のものから、昨今のグローバルな人の動きに注目し、対象地域の枠組みをより柔軟に捉え、「比較」と「歴史」という分析手法を積極的に取り入れた研究をおこなう必要性が生じている。本授業では、そうした必要性を踏まえた上で、地域研究において共通論点を提供する重要な先行研究の文献を講読し、議論をおこなう。複数の教員による集団的研究指導を行う。
101989	特設	現代ジャーナリズム論I	現代ジャーナリズム論I	原 大祐、高宗 亮輔	講義科目	日本語	ジャーナリズムが果たす役割を深く理解し、報道機関が発信する情報を適切に判断する力や、インターネットにあふれる情報の真偽を見極める能力を身に付ける。
101990	特設	現代ジャーナリズム論II	現代ジャーナリズム論II	宮原 暁、 島園 洋介	講義科目	日本語	世界のさまざまな場所での社会的分断が深刻化する現代社会において、ジャーナリズムは何を追い、どのように人に伝えようとしているのだろうか。本授業では報道の現場で活躍するジャーナリストがそれぞれ何を取材をし、どのような記事を書いたのかを自ら語ってもらうことによって、この課題について探究していきます。2回目の授業からは、前半で現役のジャーナリストを中心とした話題提供者から、それぞれこれまでの記事や実践について紹介していただき、後半は、別のジャーナリストと対談形式で、さらに受講生の質問なども取り込みながらジャーナリズムと現代社会について理解を深めていきます。話題提供者はオンラインによりセミナーに参加するが、受講生は教室に集まって視聴する。最後に授業の総括として、受講者自身の関心に基づいて、記事やコラムを作成する。
101991	特設	現代ジャーナリズム論III	現代ジャーナリズム論I	原 大祐、高宗 亮輔	講義科目	日本語	ジャーナリズムが果たす役割を深く理解し、報道機関が発信する情報を適切に判断する力や、インターネットにあふれる情報の真偽を見極める能力を身に付ける。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
101992	特設	現代ジャーナリズム論Ⅳ	現代ジャーナリズム論Ⅱ	宮原 暁、 島薺 洋介	講義科目	日本語	世界のさまざまな場所で社会的分断が深刻化する現代社会において、ジャーナリズムは何を追い、どのように人びとに伝えようとしているのだろうか。本授業では報道の現場で活躍するジャーナリストがそれぞれ何を取材をし、どのような記事を書いたのかを自ら語ってもらうことによって、この課題について探究していきます。2回目の授業からは、前半で現役のジャーナリストを中心とした話題提供者から、それぞれこれまでの記事や実践について紹介していただき、後半は、別のジャーナリストと対談形式で、さらに受講生の質問なども取り込みながらジャーナリズムと現代社会について理解を深めていきます。話題提供者はオンラインによりセミナーに参加するが、受講生は教室に集まって視聴する。最後に授業の総括として、受講者自身の関心に基づいて、記事やコラムを作成する。
102175	方法論	国際関係論		高坂 博史	講義科目	日本語	グローバル化が進化するなか、国際政治の事象を体系的に把握することの重要性は高まっています。この際に有用なツールとなるのが、20世紀の二つの大戦を機に「戦争と平和」について考える学問として発展してきた国際関係論です。本講義では、国際関係論の基礎となる考え方（理論、テーマ）および現代国際政治の諸課題（紛争、環境問題など）を学びます。これにより、国際政治上の事象を一般化して理解し、より深く考える力をつけることを目指します。
(4)調査法・アカデミックライティング・異文化理解							
101811	方法論	Academic Presentation Course(C)		ベラルガ オリバー	演習科目	英語	The course objective is to enable the students to gain more experience in the art of presentation from organizing knowledge to presenting logical and coherent details on topics related to the areas of students' academic interests. Students will have a series of mini-presentations related to marketing and advertising using Powerpoint or Canva. Critical analysis will be given to the presentation, visual aid, and its content. By the end of the semester, students will have applied knowledge on polished presentation skills, building their confidence in both written and spoken discourse.
101812	方法論	Academic Presentation Course(D)		ベラルガ オリバー	演習科目	英語	The course objective is to enable the students to gain more experience in the art of presentation from organizing knowledge to presenting logical and coherent details on topics related to the areas of students' academic interests. Students will have a series of mini-presentations related to marketing and advertising using Powerpoint or Canva. Critical analysis will be given to the presentation, visual aid, and its content. By the end of the semester, students will have applied knowledge on polished presentation skills, building their confidence in both written and spoken discourse.
101815	方法論	Academic Presentation Course(F)	Academic Presentation Course(F) Dynamic Business English 3D Animated Video & Presentation software 4 you!	ネヴィル グリーンング	講義科目	英語	How to create Cool Videos and 3D Presentations using the latest software. Finally, a presentation tool that incorporates an intuitive user interface, super cool comic graphics, and offers a million more options than any other product on the market. I geared the course towards students who are looking to make their presentations more fun and creative. You can also use animated videos as short, objective focused visual aids on stimulating learning. Towards the end of the course, students should be able to demonstrate knowledge of and the ability to create animated videos and interesting 3D presentations.
101816	方法論	Academic Presentation Course(G)	Academic Presentation Course(G) Dynamic Business English Effective 3D Animation software and Presentation skills for your future job	ネヴィル グリーンング	講義科目	英語	Presentations need a purpose. Setting clear objectives for presentations is the foundation for success. To set clear presentation objectives, ask what type of presentation is being delivered, who the audience is, what the audience currently thinks and does, and what you want the audience to think and do after the presentation. Learn how to present effectively in the organization, and to a global audience.
101817	方法論	Academic Presentation Course(H)		ベラルガ オリバー	演習科目	英語	The course objective is to enable the students to gain more experience in the art of presentation from organizing knowledge to presenting logical and coherent details on topics related to the areas of students' academic interests. Students will have a series of mini-presentations related to marketing and advertising using Powerpoint or Canva. Critical analysis will be given to the presentation, visual aid, and its content. By the end of the semester, students will have applied knowledge on polished presentation skills, building their confidence in both written and spoken discourse.
101818	方法論	Academic Presentation Course(E)		ベラルガ オリバー		英語	The course objective is to enable the students to gain more experience in the art of presentation from organizing knowledge to presenting logical and coherent details on topics related to the areas of students' academic interests. Students will have a series of mini-presentations related to marketing and advertising using Powerpoint or Canva. Critical analysis will be given to the presentation, visual aid, and its content. By the end of the semester, students will have applied knowledge on polished presentation skills, building their confidence in both written and spoken discourse.
101819	方法論	Academic Writing Course(E)	Essay to Research Paper	ステイアンチ ジェインソン	演習科目	英語	The objective of this course is to progress the understanding of writing an essay to an academic paper
101820	方法論	Academic Writing Course(D)	Logically Thinking in Writing	ステイアンチ ジェインソン	演習科目	英語	The objective of this course is to progress the understanding of writing an academic essay
101821	方法論	Academic Writing Course(F)	Academic Writing Course(F) Important Business Writing for your future. Business emails (Formal, Semi- formal, Casual). How to write a Cover letter, Resume and CV.	ネヴィル グリーンング	講義科目	英語	To demonstrate techniques of prewriting, exploration, and planning (examples will include brainstorming, how to write a business letter, a resume, a cover letter, a business email, proofread) and to effectively communicate in all aspects of the business. Towards the end of the course students should be able to demonstrate knowledge of and ability to write within the main genres of a discipline (ex. summary, an analysis, a cover letter, resume, requesting and rejecting information in a business email), and to use digital software to edit paperwork, detect plagiarism, and eliminate grammatical errors.
101822	方法論	Academic Writing Course(G)	Academic Writing Course(G) Dynamic Business Writing and Smart Goals. S= Specific M= Measurable A= Achievable R= Relevant T= T-Bound	ネヴィル グリーンング	講義科目	英語	To demonstrate techniques of prewriting, exploration, and planning (examples include freewriting, brainstorming, modeling, mapping, webbing, outlining) to the composition of an essay. Towards the end of the course, students should be able to demonstrate knowledge of and ability to write within the main genres of a discipline (ex. summary, an analysis, a comparison essay, conclusion, etc.)
101842	特設	異文化理解演習(A)	異文化は遠いところだけにあるのだろうか。文化編	波多野 吉徳	演習科目	日本語	みなさんは「異文化」と聞くと、何を思い浮かべるだろうか。あまり物事を深く考えなければ、自分たちの生活と関係が全く空間的隔たりが大きい世界のことだと思うかも知れない。私たちは日々忙いので、それが普通の反応だろう。翻って、私たちの生活は「今ここ」だけで完結し成立するものでないことも21世紀に生きる私たちにとっては常識であろう。そうであるならば、私たちの「今ここ」に「今ここではない世界」が重なって、私たちの生活に多大な影響を及ぼしていることもまた当然であろう。私たちが私たちに繋がっている（今は見知らぬ）人たちとこの世界をつくっていくために協同しようとするとき、まず考えなければならないことだと私が考えるのは、自分がどういったものを見方をするのか、そしてそれを形作ってきたものは何なのかということだ。それはすなわち自己を見つめなおすということである。その作業を行う過程で、おそらく自分というものが他の誰とも同じではないものつまり、自己の唯一性を感じるだろう。そして、私たちの接する人たちもすべてそれぞれが唯一の存在であるならば、自分とは異なる存在は、すべて「異文化」を持っていると言えないだろうか。私たちは、今後、多くの「異文化」を持つ人たちといっしょに何かを作っていく必要はない。この授業では、そのとっかかりとして、あまり「異文化っぽくない異文化」の人たちと、それぞれの持つ異文化を意識しながら、毎回の授業活動を行って欲しいと思う。そして、ここでの経験が、将来の社会生活に必要な他者とのコミュニケーションのあり方考える契機になればいいと思う。外国語学部という場合は、人とのかわり方を考える場であり、みなさんはそのための手段として外国語を学んでいるのだから。春夏学期は「異文化理解」を考える上で大切な文化に焦点を当てていく。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
101843	特設	異文化理解演習(C)	異文化は遠いところにあるのだろうか。空間編	波多野 吉徳	演習科目	日本語	みなさんは「異文化」と聞くと、何を思い浮かべるだろうか。あまり物事を深く考えなければ、自分たちの生活と関係がなく空間的隔たりが大きい世界のことだと思ふかも知れない。私たちは日々忙しいので、それが普通の反応だろう。翻って、私たちの生活は「今ここ」だけで完結し成立するものでないことも21世紀に生きる私たちにとっては常識であろう。そうであるならば、私たちの「今ここ」に「今ここではない世界」が繋がっていて、私たちの生活に多大な影響を及ぼしていることもまた当然であろう。私たちが私たちに繋がっている（今は見知らぬ）人たちとこの世界をつくっていくために協同しようとするとき、まず考えなければならないことだと私が考えるのは、自分がどういったものを見方をするのか、そしてそれを形作ってきたものは何なのかということだ。それはすなわち自己を見つめなおすということである。その作業を行う過程で、おそらく自分というものが他の誰とも同じではないものつまり、自己の唯一性を感じるだろう。そして、私たちの接する人たちもすべてそれぞれが唯一の存在であるならば、自分とは異なる存在は、すべて「異文化」を持っていると言えないだろうか。私たちは、今後、多くの「異文化」を持つ人たちといっしょに何かを作っていく必要がある。この授業では、そのとっかかりとして、あまり「異文化っぽくない異文化」の人たちと、それぞれの持つ異文化を意識しながら、毎回の授業活動を行って欲しいと思う。そして、ここでのご経験が、将来の社会生活に必要な他者とのコミュニケーションのあり方を考える契機になればいいと思う。外国語学部という場合は、人のかかわり方を考える場であり、みなさんはそのための手段として外国語を学んでいるのだから。秋冬学期は「異文化理解」を考える上で大切な理解に焦点を当てて考えていく。
101844	特設	異文化理解演習(B)	文化と写真	並川 嘉文	演習科目	日本語	文化を伝えるには写真が有効な手段です。この授業では写真を中心とした文化紹介のプレゼンテーション制作を通じて文化についての理解を深めます。記録写真の撮影技法と画像編集ソフトの使い方について学び、同時にグループでのプレゼンテーション制作を進めます。プレゼン制作のために教室外での調査・取材・撮影等が必要です。（撮影技法や画像編集については写真部であれば知っているレベルのことです）
101845	特設	異文化理解演習(D)	文化と文明	並川 嘉文	演習科目	日本語	教科書の購読を通じて文化と文明についての理解を深める。教科書を読んで討論を行います。私たちは自分の慣れ親しんだ生活や考え方を当たり前と思って暮らしていますが、違う地域や別の時代を見たりそれは当たり前ではないことに気付きます。この授業では人類の歴史を振り返ることで現代の社会を理解し、自分の思い込みに気付きます。
102176	方法論	社会調査法a	量的調査の設計・実施と分析	山野 薫	講義科目	日本語	社会調査（量的調査）の実施を念頭に、社会調査を行う意義を理解し、調査の実施・分析に必要な基礎知識（調査の設計方法、データの種類とデータ収集の方法、質問項目の作り方、データ分析の方法など）を学ぶ。また、自ら社会調査ができるようになるために、実際にコンピュータを使用しながら調査計画の策定や質問項目・調査票の作成、データの集計、結果のまとめなどを行う。
102177	方法論	社会調査法 b	質的調査の設計・実施と分析	山野 薫	講義科目	日本語	社会調査（質的調査）の実施を念頭に、社会調査を行う意義を理解し、調査の実施・分析に必要な基礎知識（調査の設計方法、データの種類とデータ収集の方法、質問項目の作り方、データ分析の方法など）を学ぶ。また、自ら社会調査ができるようになるために、実際にコンピュータを使用しながら調査計画の策定や質問項目の作成、データの集計、結果のまとめなどを行う。
10A300	地域系	東南アジア社会文化演習(B)	エスノグラフィーを学ぶ	宮原 暁、島 眞 洋介	演習科目	日本語	「調査者」がある社会的活動やあるコミュニティの「現場」におもむき、自分が体験し、観察したことがらを記録し、その記録をもとに、社会的活動や生活の営みについて記述したものをエスノグラフィーと呼びます。エスノグラフィーは、人類学や社会学における研究方法として用いられてきましたが、近年、その他の学問分野にも浸透しつつあります。また、社会的課題を解決するための「現場」に根ざした知を生み出すための技法として、さまざまな場面で注目を浴びつつあります。この授業では、ある現場に参与し観察するための技法、参与観察の記録（フィールドノート）の作成の仕方、その結果としての発信するための手法を、実際に、それらを行ってみることを通じて学びます。
10B406	地域系	英語国際ビジネスコミュニケーション入門a		氏木 孝仁	講義科目	日本語・英語	このコースでは、グローバルビジネスを通して異文化、英語について考究する。英語に必要な知識とスキルを身に付け、異文化間で適切かつ効果的に活動するための意識を高める。
10B407	地域系	英語国際ビジネスコミュニケーション入門b		氏木 孝仁	講義科目	日本語・英語	このコースでは、グローバルビジネスを通して異文化、英語について考究する。英語に必要な知識とスキルを身に付け、異文化間で適切かつ効果的に活動するための意識を高める。
10B969	地域系	東南アジア社会文化演習(D)	質的調査法を学ぶ	宮原 暁、島 眞 洋介	演習科目	日本語	フィールドワークは、学術的な調査のための方法であるのみならず、社会活動の（現場）に根ざした知的探究の活動でもあります。この授業では、フィールドワークの技法のなかでも、代表的なものとして、インタビュー調査をとりあげます。実際に、研究をデザインし、インタビューを行ったうえで、研究成果を発表することを通じて、質的調査の技法を学習します。
(5) 豊中開講							
101882	方法論	表象文化論a	映画分析演習－イングマル・ベルイマンの映画世界	山本 佳樹	演習科目	日本語	映画を分析する方法を具体的な作品を通して学ぶ。まず、ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー－映像の法則』（フィルムアート社、2003）などの内容を解説し、映画分析の諸観点について整理する。その後、スウェーデンが生んだ映画界の巨匠イングマル・ベルイマン監督の代表作（『第七の封印』1957、『仮面 ベルソナ』1966など）をショット分析する練習をする。そのうえで作品の主題に迫ることができるようになる。
101883	方法論	表象文化論b	映画分析演習－市川崑の映画世界	山本 佳樹	演習科目	日本語	映画を分析する方法を具体的な作品を通して学ぶ。まず、ルイス・ジアネッティ『映画技法のリテラシー－映像の法則』（フィルムアート社、2003）などの内容を解説し、映画分析の諸観点について整理する。その後、「巽タッチ」と呼ばれる独自のスタイルで多彩なジャンルの映画を手がけた市川崑監督の代表作をショット分析する練習をする。そのうえで作品の主題に迫ることができるようになる。
101890	方法論	社会言語学研究a	社会言語学研究A／談話分析概論	秦 かおり	演習科目	日本語・英語	社会言語学、特に談話分析に関する幾つかの観点を網羅的に講読することによって、専門分野の基礎的知識を身につけ、後期における研究実践に繋げることを目的とします。
101891	方法論	社会言語学研究b	社会言語学研究B／談話分析概論と実践	秦 かおり	演習科目	日本語・英語	社会言語学、談話分析（特にナラティブ分析）・マルチモーダル分析の基礎的知識を強化し、研究実践を通して自分なりの視点を養うことを目的とします。
101895	方法論	デジタルヒューマニティーズa	デジタルヒューマニティーズ：テキスト分析論（基礎編）	田畑 智司	演習科目	日本語・英語	デジタルヒューマニティーズや自然言語処理の解説書を読みすすめつつ、ハンズオンのトレーニングを並行して行う。前期はまず基礎的事項を習得した上で、各種コーパスを用いた言語処理の実践や、テキストデータから単語頻度プロファイルや数量データの生成、統計解析と視覚化を通して、テキスト資料から有用な言語事実や言語科学的知見を掘り起こすにはどのような工夫が必要か、ことばと文化のデータを分析する上で必要な洞察力を身に付けるトレーニングを行う。前期は特に、正規表現を活用したデータ検索技術論、プログラミング言語Pythonを用いたコーパス処理と分析データの統計解析・視覚化に重点を置く。
101896	方法論	デジタルヒューマニティーズb	デジタルヒューマニティーズ：テキスト分析論（基礎編）	田畑 智司	演習科目	日本語・英語	デジタルヒューマニティーズや自然言語処理の解説書を読みすすめつつ、ハンズオンのトレーニングを並行して行う。前期はまず基礎的事項を習得した上で、各種コーパスを用いた言語処理の実践や、テキストデータから単語頻度プロファイルや数量データの生成、統計解析と視覚化を通して、テキスト資料から有用な言語事実や言語科学的知見を掘り起こすにはどのような工夫が必要か、ことばと文化のデータを分析する上で必要な洞察力を身に付けるトレーニングを行う。前期は特に、正規表現を活用したデータ検索技術論、プログラミング言語Pythonを用いたコーパス処理と分析データの統計解析・視覚化に重点を置く。
101899	方法論	認知言語学研究a	認知言語学研究の基礎	小栗 哲哉	演習科目	日本語	認知言語学研究における重要概念に関する研究文献を講読し、問題演習や受講者とのディスカッションを通して、実際に言語現象を分析するための基礎力を養う。授業では、教材の指定箇所を担当者が分かりやすく説明してもらい、その後教員が解説・補足を行う。また、質疑応答や練習問題を混じえながら、全体でディスカッションを行う。その他、詳細は授業内で指示する。
101907	方法論	翻訳研究a	和英・英和翻訳演習	村上スミス・アンドリュウ	演習科目	日本語・英語	翻訳研究A・Bは、翻訳を理論と実践の両側面から見る授業である。「和英・英和翻訳演習」（翻訳研究A）では、毎週 英和・和英翻訳の課題を一人または受講者同士の共同作業で訳し、授業（またはCLEの掲示板）で課題についてディスカッションすることにより翻訳実践を体験してもらう。
101908	方法論	翻訳研究b	翻訳研究概論	村上スミス・アンドリュウ	演習科目	日本語・英語	翻訳研究A・Bは、翻訳を理論と実践の両側面から見る授業である。翻訳研究Bでは、様々な翻訳理論を読み翻訳の諸問題について検討することにより翻訳研究を概観する。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
101911	方法論	第二言語社会・文化研究a	第二言語社会・文化研究入門	大谷 晋也		日本語	・言語とは、文化とは、言語文化とは、そして言語文化教育とは何かということ、歴史的な流れやそれらを取り巻く周辺領域を視野に入れてつづける。 ・言語文化・言語文化教育、およびその周辺領域に関する広い視野の形成を目指す。
101912	方法論	第二言語社会・文化研究b	言語文化教育の現状と課題	大谷 晋也		日本語	・異言語教育や少数言語に関する各国の言語（教育）政策について、その目的と効果、理想と現実について知り、よりよい言語教育はどうあるべきかを考える。 ・言語文化・言語文化教育、およびその周辺領域に関する広い視野の形成を目指す。
101915	方法論	グローバリゼーション論a	先住民文学と難民文学をつなぐ地平線（水平線）—オーストラリア現代文学を読む	小杉 世	演習科目	日本語・英語	本演習は植民地主義・帝国主義とグローバリゼーションとの関係について、ポストコロニアル理論や環境人文学、その他の文化理論に基づきながら考察する。太平洋の核軍拡による先住民社会の変容、移民・難民の問題、気候変動やグローバル企業の活動が現地社会にもたらす環境問題、グローバル資本主義と生政治の問題など、現代世界の抱える様々な課題について、文学テキストや表象の分析、フィールド調査のデータなどをもとに考察する。現代社会の課題を考究するにあたって必要となるのは、多様な視点であり、「他者」の目から世界を見る想像力である。受講生は自らの専門分野と方法論に基づいて、授業に自らの視点や関連考察素材を持ち込むことが推奨される。 今年度の春夏学期は、オーストラリアの中国系アボリジナル作家アレクシス・ライト（Alexis Wright）の短篇 <i>Odyssey of the Horizon</i> （『地平線の叙事詩』）をとりあげ、アボリジナルの創世神話に基づく世界観を英語で表現した作家の代表作 <i>Carpentaria</i> （2006）や気候変動によって「難民」となるスワンの地球規模の移動を描く <i>The Swan Book</i> （2013）などの小説の抜粋を一部紹介しながら、この短編がいかに先住民文学と難民文学をつなぐものとなっているかを分析する。本作品はオーストラリアのアーティスト Tracy Moffatt が2017年ヴェネツィア・ビエンナーレ国際美術展に出品した作品『私の地平線(My Horizon)』にこたえる形で創作された。写真や映像といった視覚芸術と言葉による文学作品のコラボレーションについても論じる。また学期の残りの時間では、ベトナム系オーストラリア人作家ナム・リー（Nam Le）の短編集 <i>The Boat</i> （2009）を読む。生後3か月で両親とともにオーストラリアへ難民として移住したナム・リーは英語を第一言語とする移民1.5世であり、リーの本短編集の作品の舞台は、アメリカ、コロンビア（カルタヘナ）、イラン（テヘラン）、日本（ヒロシマ）、オーストラリアとグローバルに展開する。そのうちおもにアメリカ、ヒロシマ、ベトナムからオーストラリアへ向かう難民船上を舞台とした3篇を読む。
101916	方法論	グローバリゼーション論b	アジア太平洋の環境文学（Indra Sinha: <i>Animal's People</i> ）	小杉 世	演習科目	日本語・英語	本演習は植民地主義・帝国主義とグローバリゼーションとの関係について、ポストコロニアル理論や環境人文学、その他の文化理論に基づきながら考察する。太平洋の核軍拡による先住民社会の変容、移民・難民の問題、気候変動やグローバル企業の活動が現地社会にもたらす環境問題、グローバル資本主義と生政治の問題など、現代世界の抱える様々な課題について、文学テキストや表象の分析、フィールド調査のデータなどをもとに考察する。現代社会の課題を考究するにあたって必要となるのは、多様な視点であり、「他者」の目から世界を見る想像力である。受講生は自らの専門分野と方法論に基づいて、授業に自らの視点や関連考察素材を持ち込むことが推奨される。 今年度の秋冬学期は、インドのボパール化学工場事故を想起させる架空の町を舞台とする Indra Sinha の小説 <i>Animal's People</i> （2017）をとりあげ、冷戦期の太平洋核実験の歴史や石牟礼道子などの日本の水俣文学との関わりにおいて分析する。
101917	方法論	言語文化共生論a	文学から考える人種とジェンダー（1）	里内 克巳	演習科目	日本語	Nella Larsen の小説 <i>Passing</i> （1929）は、Alice Walker や Toni Morrison など、後続するアフリカ系アメリカ文学の書き手たち（特に女性作家）に大きな影響を与えた作品である。本授業では、この小説を丹念に読み、議論することによって、作品が投げかける人種やレイシズム、そしてジェンダーやセクシュアリティといった問題系をめぐる問いかけに対して考えをめぐらせていく。また小説の読解と併行して、文化人類学者 Ruth Benedict が著した <i>Race and Racism</i> （1940）の日本語訳も参照し、人種という捉えがたい概念についての理解を深めたい。
101918	方法論	言語文化共生論b	文学から考える人種とジェンダー（2）	里内 克巳	演習科目	日本語	この授業では、アフリカ系アメリカ人作家 Charles W. Chesnut の最後の作品となった <i>The Quarry</i> （完成は1928年、出版は1999年）という小説を読む。明るい肌を持ったハンサムな男性が、さまざまな女性たちと関わりをもちつつ、「黒人」の指導者としての道を模索するという筋立ての小説である。20世紀前半のアメリカにおける社会状況を知る上でも興味深いテキストである。本授業では、この小説を丹念に読み、議論することによって、作品が投げかける人種やレイシズム、そしてジェンダーやセクシュアリティといった問題系をめぐる問いかけに対して考えをめぐらせていく。また小説の読解と併行して、日本人研究者による人種主義に関する入門書も参照し、広い視野から理解を深めていきたい。
101921	方法論	言語文化比較交流論b	『金瓶梅詞話』講読	田中 知行	演習科目	日本語	前期にひきつづき明代の白話長篇小説『金瓶梅』を講読する。各種の注釈や英訳をも合わせ読みつつ、白話文の正確な読解能力を身に着けるとともに、白話小説の翻訳のありかたについて考察する。
101931	方法論	翻訳研究a	近代日本の翻訳児童文学—翻訳作品と関連資料の読解	渡辺 貴規子		日本語	近代以降多数行われた欧米の児童文学の翻訳は、日本の児童観・教育観に大きな影響を与えた。同時に、それらの作品の中には日本の翻訳史全体から見ても重要な作品も存在する。本演習では、近代の代表的な翻訳児童文学作品の読解を通して、翻訳と教育の関係を考察するとともに、日本における翻訳の歴史の一端を把握し、翻訳と日本語・日本文化との関係についても考察する。 近代日本の代表的な翻訳児童文学作品の一部について、翻訳論・関連資料の読解と、原文と翻訳文の比較検討を行う。なお、原文と翻訳文との比較検討を行う際には、原典が英語である作品か、英語訳を介し重訳された作品を扱う。 授業では、各テーマごとに担当を決め、当たった受講生は、当該回の授業までに、翻訳作品の特徴について説明・コメントできるように発表の準備を行っていただきます。 担当者として当たっていない受講生も、配布される授業資料を必ず読んでおくようにしてください。 ※なお、下記の授業計画の各回の内容は予定ですので、授業の進捗に応じて各テーマに割く授業の回数、テーマとする作品が変更となる場合もあります。その際は授業の中で指示します。
101937	方法論	翻訳研究b	欧米児童文学作品の日本における受容—翻訳・再話・アダプテーション	渡辺 貴規子		日本語	本演習では、欧米の児童文学作品の日本における翻訳、翻案、再話、および日本で公開された映画、アニメーションなどのアダプテーションを取り上げ、原作の文芸表象の変容について受講者とともに考察する。また、その変容に関し、文化社会史的背景、児童観の相違や変容、翻訳者や製作者の思想や作品解釈についても検討する。 最初の回は、比較児童文学者、ジャック・ザイプスの論文を受講生とともに講読し、本演習における基本的な視座を確認する。 その後、具体的な作品の検討に移る。テーマとする各作品には2〜3回の授業を当て、毎回の授業において、それらの作品の種類の異なる翻訳・アダプテーションを取り上げる。 授業では、各テーマごとに担当を決め、当たった受講生は、当該回の授業までに、翻訳作品の特徴について説明・コメントできるように発表の準備を行っていただきます。 担当者として当たっていない受講生も、配布される授業資料を必ず読んでおくようにしてください。 ※なお、下記の授業計画の各回の内容は予定ですので、授業の進捗に応じて各テーマに割く授業の回数、テーマとする作品が変更となる場合もあります。その際は授業の中で指示します。
102125	方法論	言語文化比較交流論a	『金瓶梅詞話』講読	田中 知行	演習科目	日本語	明代の白話長篇小説『金瓶梅』を講読する。各種の注釈や英訳をも合わせ読みつつ、白話文の正確な読解能力を身に着けるとともに、白話小説の翻訳のありかたについて考察する。
102138	方法論	言語文化共生論a	現代イギリス小説 <i>Ian McEwan, Atonement</i> (2001) を読む	霜島 慶邦	演習科目	日本語	現代イギリス文学を代表する作家 Ian McEwan の代表作 <i>Atonement</i> (2001) を読みます。 ある少女の恋心、その少女の嘘によって人生の破滅へと追いやられる恋人たち、一人の人間が長年にわたって抱える罪の意識、贖罪の可能性と不可能性、第二次世界大戦という歴史的悲劇、文学を創作するという行為の可能性と限界といった複数のテーマが、美しく洗練された文体と巧みな構成によって綴られます。まずは、物語世界を楽しみ、じっくりと味わいましょう。そして、作品についての理解を深めるだけでなく、文学テキストを、単語・内容・文体・構造・修辞・背景など、あらゆるレベルにこだわって読むという行為がそれ自体の訓練も意識して進め、文学テキストを分析的・批評的に読む技術をも身につけることを目指します。 授業の形式は、基本的に、担当者による発表と全体での議論によって進める予定です。 気軽に、積極的に、議論に参加してください。 ※この小説は、複雑な仕掛けが施されたメタフィクションであるため、作品を効果的に分析するために、あらかじめ一通り内容を知ったうえで、小説を読んでいきます。翻訳でも映画版でもよいので、授業の第2回目までに鑑賞しておいてください。初回のガイダンスのときに、DVDの貸し出しもしますので、希望者は遠慮なく言ってください。AmazonのPrime Videoでも映画を観ることができます。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
102139	方法論	言語文化共生論b	現代マレーシア英語文学が描く日本のアジア占領の記憶：Tan Twan Eng, The Garden of Evening Mists (2011)を読む	霜島 慶寿	演習科目	日本語	現代マレーシア文学界を代表する作家Tan Twan Engの英語小説The Garden of Evening Mists (2011)を読みます。 Tan Twan Engは、マレーシアのペナン島に生まれ、ロンドン大学で法律を学び、クアラルンプールで弁護士となり、その後、小説家となり、デビューと同時に高い評価を受け、現在にいたります。 The Garden of Evening Mistsは、マン・ブッカー賞最終候補、マン・アジア文学賞受賞、ウォルター・スコット賞受賞、国際IMPACダブリン文学賞最終候補など、高い評価を受け、17ヶ国語に翻訳されています。阿部寛出演により映画化もされています。 物語は、英国統治時代のマラヤ連邦（現マレーシア）を舞台に、天皇の庭師だったアットモと、日本軍の強制収容所のトラウマを抱えるコンリンの関係が、1980年代の時点から回想されます。日本軍のマレー半島侵攻、戦後マラヤの「非常事態」といった歴史を背景に、戦争によって傷つく人々の記憶が、きわめて美しく読みやすい英語の文章によって綴られます。 まずは、物語世界を楽しみ、じっくりと味わいましょう。そして、作品についての理解を深めるだけでなく、文学テキストを、単語・内容・文体・構造・修辞・背景など、あらゆるレベルにこだわって読むという行為が自らの訓練も意識して進め、文学テキストを分析的・批評的に読む技術を身につけることを目指します。 授業の形式は、基本的に、担当者による発表と全体での議論によって進める予定です。気軽に、積極的に、議論に参加してください。
102161	方法論	コミュニケーション論a	言語人類学入門	榎本 剛士	演習科目	日本語・英語	この授業は、「言語人類学 (linguistic anthropology)」への専門的入門授業である。リーディングを読んだディスカッションを通じて、言語 (使用) のコンテキスト依存性のあり様、また、言語の使用によって媒介される社会的諸関係 (の様々な現れ) を検討していく。履修する学生は、言語と社会・文化はいかにしてつながるのか、言語と社会・文化のつながりはどのように研究できるのか、といった問いを常に発し、共有し、洗練することを意識的に目指してほしい。
102162	方法論	コミュニケーション論b	言語人類学の理論的基礎	榎本 剛士	演習科目	日本語・英語	この授業では、「コミュニケーション論A」で得た「言語人類学」に関する一般的・基礎的な理解の上に、記号論的コミュニケーション論の知見をさらに積み上げる。言語などの記号に媒介されるコミュニケーションにおいて/よって特定の (コ (ン)) テキストの局面が指し示される (ようになる) 原理、および、「詩的構造」「(脱/再) コンテキスト化」「パフォーマンス」「フッティング」「コンテキスト化の合図」「ジャンル」「レジスター」「言語イデオロギー」といった「メタ語用」的諸概念を検討しながら、コンテキストの前提・変容プロセス (また、そのようなプロセスの「効果」としての我々) を生み出す出来事としての「コミュニケーション」のあり様を探究する。
102165	方法論	言語統計学a	実験言語学と推測統計学： ＜時間はかけるけど丁寧に学ぶ統計学入門＞ ※初回から授業があります (下記の予習ビデオを視聴してください)	山田 彬亮	講義科目	日本語	この授業では、言語学とデジタルヒューマニティーズ、そして、その隣接分野を専門とする学生を対象に、これらの分野でよく使われている初歩的な統計的手法の基礎を学びます。前期「言語統計学A」では、推測統計学の基礎から始めて、実験言語学のスタンダードである混合効果モデルの基礎を身につけることを目標とします (※何を学ぶかの詳細は下記授業スケジュールを参考にしてください)。 学部時代には統計を習ったことのない「文系」の学生を主たる履修者と想定し、それぞれの統計手法の基本的な発想・ロジック、そしてその実践的留意点を、ときに幾何 (図形) 的な解説を交えつつ、講義+演習形式で一つ一つ丁寧に説明していきます。 ※この授業の履修を検討している人のために、下記のリンクにて詳しく「ガイダンス」と「初回授業の内容」を公開しています。履修を決める前に、必ず一度は視聴してください。また、履修する場合はこのリンク先のすべてのビデオを視聴してから初回の対面授業に臨んでください。 https://www.ay.lang.osaka-u.ac.jp/lingstatsainroduction
102166	方法論	言語統計学b	コーパス言語学とデジタル・ヒューマニティーズの基礎： ＜一般化線形モデルとベイズ統計学の実践＞ ※初回はガイダンスではなく、授業です。なるべく早めに履修登録を済ませ、CLEのリンク先から予習動画を視聴し対面授業に参加してください。	山田 彬亮		日本語	「言語統計学A・B」は、言語学とデジタルヒューマニティーズ、そして、その隣接分野を専門とする学生に対して、これらの研究分野でよく使われている統計的手法の基礎を講義する通年講座です。後期「言語統計学B」では、コーパス言語学で多用される基礎的な統計モデルを学んでいきます。学期の中盤では、ベイズ統計学で近年よく使われるStanを実際に動かしてみ、ベイズ数値計算の実践についても理解を深めていきます。 なお、授業の設計や詳細については、前期の「言語統計学A」のシラバスに記載されていますので、併せてそちらもお読みください。
102167	方法論	認知意味理論研究a	認知意味理論と認知類型論の入門講義	田村 幸城	講義科目	日本語	本授業の目的は、認知言語学及び言語類型論の基礎的な概念を学ぶと共にそれを自らの考えに応用することを目的としています。主に、下の参考文献にあげた書籍からトピックを抜き出しながら、そのトピックに沿った論文を引用しながら講義を行っています。
102168	方法論	認知意味理論研究b	記述言語学から認知類型論に向けた入門講義	田村 幸城	講義科目	日本語	本授業の目的は、認知言語学及び言語類型論の基礎的な概念を学ぶと共にそれを自らの考えに応用することを目的としています。主に、下の参考文献にあげた書籍からトピックを抜き出しながら、そのトピックに沿った論文を引用しながら講義を行っています。
102169	方法論	理論言語学a	統語論入門	宮本 陽一	演習科目	日本語・英語	現代の理論言語学のゴールは、人間の持つ言語能力の研究を通して人間の心 (mind) を理解することにある。この1つの試みとして生成文法理論がある。本講義では、英語の基本構造を見た後、生成文法理論において広く議論されている英語の疑問文 (移動現象) に注目しながら、生成文法理論の考え方を学んでいく。更に、そこまでの講義内容を踏まえ、日英語比較を試みる予定である。
102170	方法論	心理言語学b	理論言語学と心理言語学：論理接続詞	宮本 陽一	演習科目	日本語・英語	「言語獲得」をめぐる諸問題について、生成文法をはじめとする理論言語学の知見に基づき研究する。特に言語獲得の過程を説明することを通して、言語の普遍的な側面、個別言語の統語構造、意味構造等を説明する手法を学ぶ。
102181	方法論	超領域文化論a	東アジアの文化史	ガデミ アミン		日本語・英語	東アジアの歴史を検討する英語での文献を精読することにより、英語圏の文化史学における重要な議論を理解し、それについて批判的に考え、その議論における様々な視点を評価する。今学期は主に、中国史および日本史における「身分」と「公共圏」という二つのテーマを取り上げる。
102182	方法論	超領域文化論b	東アジアの文化史	ガデミ アミン		日本語・英語	東アジアの歴史を検討する英語での文献を精読することにより、英語圏の文化史学における重要な議論を理解し、それについて批判的に考え、その議論における様々な視点を評価する。今学期は主に、中国史および日本史における「身分」と「公共圏」という二つのテーマを取り上げる。

B. 専攻国・地域

101810	方法論	文化史 (I)	ロシアに住む民族の世界	高島 尚生	講義科目	日本語	ロシア連邦内に暮らす諸民族の文化を知り、現代ロシアをより一層理解する一助とすることを目的とする。特に、授業の前半はロシア連邦に住む諸民族を紹介し、ロシア民族のある習俗からロシア民族の文化の基層を読み解き、後半はシベリアに住むトゥヴァ民族の文化を紹介しながら、彼らの世界観を神話や民話などのフォークロアやシャマニズムなどを通して知る。適時、隣接諸民族の文化なども紹介する。
102179	特設	バルカン学 (A)	古代から現代までのバルカン (1)	藤原 克美	講義科目	英語	この授業はブルガリア共和国科学アカデミーバルカン学研究所およびトラキア学センターのハイレベルのスタッフによるオムニバス形式の講義です (現地よりZoomで実施)。講義は英語で行います。政治・経済的發展、宗教、文学・芸術、国際関係と現代の諸問題まで、古代から現代までの重要な出来事を取り上げます。ブラジミロフ・イヴォ先生がブルガリア科学アカデミーとの調整を行うコーディネーターになります。
102180	特設	バルカン学 (B)	古代から現代までのバルカン (2)	藤原 克美	講義科目	英語	この授業はブルガリア共和国科学アカデミーバルカン学研究所およびトラキア学センターのハイレベルのスタッフによるオムニバス形式の講義です (現地よりZoomで実施)。講義は英語で行います。政治・経済的發展、宗教、文学・芸術、国際関係と現代の諸問題まで、古代から現代までの重要な出来事を取り上げます。ブラジミロフ・イヴォ先生がブルガリア科学アカデミーとの調整を行うコーディネーターになります。
10A033	地域系	東南アジア地域研究概論a	東南アジア全体を俯瞰する	宮脇 聡史、 近藤 美佳、 菅原 由美、 村上 忠良、 池田 一人、 白石 奈津子	講義科目	日本語	豊中キャンパスから箕面キャンパスに移ってきた2年生が、各国に関する専門教育に入る前に、東南アジア全体を俯瞰する総合的基礎知識を学ぶとともに、ディシプリンやアプローチの存在を知るための機会を与える (但し3年生以上でも受講できる)。 ・各教員が自分の専門地域一國だけでなく、他地域に関わる話をする。 ・各専門分野 (ディシプリン) から見た地域研究の手法についての概説を行う (卒論に繋げることを意識して)。
10A050	地域系	中国研究概論	中国語圏の文学	今泉 秀人	講義科目	日本語	現代中国語が大陸に成立した1920年ごろからすでに100年になる。台湾、東南アジアをはじめとする中国語圏のひろがり意識しながら、社会の、言語の、民族の周縁部を様々な形で描く文学作品とその作家のあり方を紹介し、文学研究の可能性を論じる。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10A08 7	地域系	東南アジア地域研究概論b	東南アジア全体を俯瞰する	宮脇 聡史、 近藤 美佳、 菅原 由美、 村上 忠良、 池田 一人、 白石 奈津子	講義科目	日本語	豊中キャンパスから箕面キャンパスに移ってきた2年生が、各国に関する専門教育に入る前に、東南アジア全体を俯瞰する総合的基礎知識を学ぶとともに、ディシプリンやアプローチ法の存在を知るための機会を与える。 ・各教員が自分の専門地域一国だけでなく、他地域に関わる話をする。 ・各専門分野（ディシプリン）から見た地域研究の手法についての概説を行う（卒論に繋げることを意識して）。
10A14 5	地域系	モンゴル社会文化概論a	モンゴルという民族と地域—当事者の視点から見えるもの 4人のモンゴリストによるオムニバス方式の講義	アリディー ボルマー、阿 拉藤胡裏嘆、 今岡 良子、 水谷 東洋、 内田 敦之	講義科目	日本語	4人の講師の授業の目的と概要 (1) A,ボルマー講師（対面） 論述的に考える試みとなる演習の形でモンゴル史と宗教について基礎的な知識に触れることを授業目的とする。 人類は、狩猟と採集という生業から定住生活を送るようになり農耕と牧畜を発展させた。遊牧民とは、牧畜に依存し、広い地域を移動して利用する人々である。モンゴルはその代表的な存在である。モンゴル人は、世界史上登場してから、まもなくして世界的なモンゴル帝国を築き、その影響は未だに続いているので、学ぶ価値がある。モンゴル遊牧民がどのような思想を基に世界を征服し、分裂に至ったかを理論的に解説し、モンゴル人が母国で最終的に定着させたチベット仏教ゲルク派思想を紹介する。 (2) 水谷東洋講師（教室で、zoomを通じて） モンゴル民族は複数の国家（モンゴル国、中国、ロシア）に居住しているが、政治的な分断はいつ、どのように生じ、固定化したか。それに対して、モンゴル人は民族の統合と自立をめざす運動（バソモンゴリズム）にいかに取り組み、失敗したか。東アジアにおける地政学的な変動、中国やロシアによる国内のマイノリティに対する国民統合と分離の力学をふまえて、近現代のモンゴル人にとっての「国家、民族、地域」について考える。 (3) アルタンホヤガ講師（教室で、zoomを通じて） 中国内モンゴル自治区で生まれ育ち、日本の写真家が撮ったモンゴルの遊牧社会の変容を見て、写真に興味を持ちました。写真という手段を使って、現状を記録し、次世代に残そう、そして、問題の背景や本質を明らかにし、発信していこうと思い、写真家という生き方を選びました。この授業では、そうして現状を切り取った写真を通じて、変わりゆく内モンゴルの社会と文化のありようを紹介し、説明していきます。また、モンゴル人と一口に言っても、さまざまな場所に住んでいるので、今回は、取材で訪ねた内モンゴル自治区に住むアバヤート人、新疆ウイグル自治区に住むモンゴル人の現状も共有したいと思います。
10A15 1	地域系	フィリピン言語演習a(B)	フィリピン諸島をめぐる東・東南アジアの言説空間（1）	宮脇 聡史、 白石 奈津子	演習科目	日本語	本演習では、東・東南アジアの言説空間に関する理解を深めるために、言語に対する機能主義的なアプローチを下敷きとして、研究を進めるための立ち位置を含めた、フィリピン諸島の広い意味での文化を研究する方法について学ぶ。受講生は、まず研究論文で取り組むべき課題と、研究対象との向き合い方を自問しつつ、リーディング・リストの作成に着手する。その後、リーディング・リストに即した文献講読とディスカッション、受講者の口頭発表を通して、「研究する」とはどのようなことなのか、学んでいく。最終的に、研究論文に基づき、研究論文で取り組む上での課題と立ち位置を明示した、ブックレビューを作成する。
10A15 4	地域系	フィリピン社会演習IVa	フィリピン語専攻 3年次基礎ゼミ（1）	宮脇 聡史、 白石 奈津子	演習科目	日本語	4年次に執筆する卒業論文の作成に向け、学術研究のために必要な技術的な事柄について広く理解することを目指します。同時に、セミナー内でのディスカッションを通して、受講生各自が抱えている問題関心を深く考察するために必要な知識について、具体的に検討を重ねていくことを目指します。
10A15 5	地域系	フィリピン社会演習IVb	フィリピン語専攻 3年次基礎ゼミ（2）	宮脇 聡史、 白石 奈津子	演習科目	日本語	4年次に執筆する卒業論文の作成に向け、受講生各自が抱えている問題関心を深めるために必要な文献を、より具体的に検討していきます。秋・冬学期では、自身の関心領域において特に重要な文献について、春・夏学期で学んだテキスト・クリティークの技法を用いて読解し、自身の言葉で説明できるようになることを目指します。
10A19 8	地域系	アルタイ諸語概論a	アルタイ諸語比較研究	塩谷 茂樹	講義科目	日本語	アルタイ諸語に関する基本的知識を学ぶとともに、そこに存在する問題点を概観することを最大の目標とする。
10A20 1	地域系	モンゴル語学講義Ib	モンゴル研究の諸相（3、4年卒業論文ゼミ）	塩谷 茂樹	演習科目	その他	教員と学生が自由に討論するゼミ形式で、主に授業を進める。 3年生は、卒業論文のテーマ選びに関し、試行錯誤する期間とする。 4年生は、選択したテーマに沿って、卒業論文を完成させる期間とする。
10A20 4	地域系	モンゴル社会講義a	モンゴル女性が希求した自由と平和(1) 遊牧民の女性がその手で担った中央アジアの遊牧文化	今岡 良子	講義科目	日本語	(1) Э.Чимэдцэрэн という女性史家が書いたモンゴルの女性史をテキストとして読んでいきます。具体的には、モンゴルの遊牧民女性が①どのように家畜を飼い、②乳加工をし、③肉加工をし、④衣服を作り、⑤住居を整えてきたかということを読み、理解することになります。 (2) モンゴルの遊牧民女性の労働が特殊なものなのか、普遍的なものなのか、考察を深めていくため、履修者は世界の牧畜について調べることで、授業に参加します。
10A20 5	地域系	モンゴル社会講義b	モンゴル女性が希求した自由と平和(2)	今岡 良子	講義科目	日本語	Э.Чимэдцэрэн という女性史家が書いたモンゴルの女性史を読んでいきます。 1921年の人民革命以降、①女性たちが文字を覚え、②学校で学び、③専門を身につけて、社会で活躍し、④国際社会で一定の役割を果たしていく歴史が書かれています。その内、特にフォーカスをあてるのは、婚姻について、識字教育について、政治的粛清について、社会進出についてです。一緒に読んでいきましょう。 テキストを読むだけでなく、映像を見たり、文献を確認したり、統計資料を見たり、他の国と比較したり、ということを通じて、理解を深めていきます。できれば、自分の家族の歴史に置き換えながら、その時代を理解できるとういでしょう。
10A20 6	地域系	モンゴル遊牧地域講義a	「四季遊牧」を観る—人間の生きる原点を見つめ直す① リレー講義	ジャルガルサイハン ラマー、フスンダ グリムフバヤ ガラ、トホグ エビシ、今岡 良子、山本 千夏、西村 幹也、内田 敦之、尾崎 舞	講義科目	日本語	1つの長編映像作品を順次、鑑賞し、解説を加えるとともに、対話を通じ、モンゴルの遊牧地域社会について、理解と考察を深めてゆく。 テーマ：人間のいのちを支える「自然」・「家族」・「地域」 1992年秋から1年間にわたる住込み調査に基づいて制作したドキュメンタリー映像作品『四季・遊牧—ツェルゲルの人々—』（監督・撮影 小貫雅男、編集 伊藤恵子）から考える 『四季・遊牧』（三部作、全6巻、7時間40分）の構成 第1部 厳冬に耐える 一再生への模索— 1992年秋～冬 第2部 春を待つ、そして夏 一試行を重ねる— 1993年早春～夏 第3部 忍び寄る秋 一歓喜、そして思索— 1993年盛夏～晩秋 この授業は、伊藤恵子先生が担当していた授業ですが、今年度も、授業を開講することができないので、モンゴル社会文化概論のリレー講義の講師にサポートしていただいて、実施することにします。 授業は、春夏学期に木曜日の3、4時間目に授業が行われるので、その秋冬学期、木曜日の3、4時間目に設置しました。2025年度は月曜日に移します。 さて、この授業の第一の目的は、ドキュメンタリー映画『四季 遊牧—ツェルゲルの人々— 1992-1993年』を見ることです。これは、大阪外大が中心となった日本モンゴル共同ゴビ遊牧社会開発プロジェクトの調査の一部を記録したのですが、モンゴル国バヤンホンゴル県ボグド郡ツェルゲルという山岳砂漠地域の遊牧民と家族、その共同体（ホタイル）が、一年間山羊を育てながら、どう暮らすか。どのような社会問題を抱え、遊牧民は地域共同体を再生し、どう乗り越えようとしているかということをお貫雅男先生が撮影、監督し、伊藤恵子先生が編集し、解説を加えたものです。細胞を培養すれば、研究室で肉を生産できる時代になり、私たちが生き物の命を食べて、その恵みを活かし、文化を作ってきた歴史は、大きな曲がり角に来ていると言えるでしょう。そこで、人間が自然の中で生きるという原点を見つめ直し、考えてい

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10A20 7	地域系	モンゴル遊牧地域講義b	「四季遊牧」を観るーモンゴル遊牧地域から人間の生きる原点を見つめ直す② リレー講義	ジャルガルサイハン ラマー、フェンダグリンツバハバガウ、トバグ・トバグ、今岡良子、山本千夏、西村幹也、内田教之、尾崎舞	講義科目	日本語	1つの長編映像作品を順次、鑑賞し、解説を加えるとともに、対話を通じ、モンゴルの遊牧地域社会について、理解と考察を深めてゆく。 テーマ：人間のいのちを支える「自然」・「家族」・「地域」 1992年秋から1年間にわたる住込み調査に基づいて制作したドキュメンタリー映像作品『四季・遊牧ーツェルゲルの人々ー』（監督・撮影 小貫雅男、編集 伊藤恵子）から考える 『四季・遊牧』（三部作、全6巻、7時間40分）の構成 第1部 厳冬に耐えるー再生への模索ー 1992年秋～冬 第2部 春を待つ、そして夏ー一試行を重ねるー 1993年早春～夏 第3部 忍び寄る秋ー歓喜、そして思慕ー 1993年盛夏～晩秋 この授業は、伊藤恵子先生が担当していた授業ですが、今年度も、授業を開講することができないので、モンゴル社会文化類論のリレー講義の講師にサポートしていただいて、実施することになります。 授業は、春夏学期に木曜日の3、4時間目に授業が行われるので、その秋冬学期、木曜日の3、4時間目に設置しました。2025年度は月曜日に移します。 さて、この授業の第一の目的は、ドキュメンタリー映画「四季 遊牧ーツェルゲルの人々 1992-1993年」を見ることです。これは、大阪外大が中心となった日本モンゴル共同ゴビ遊牧社会開発プロジェクトの調査の一部を記録したのですが、モンゴル国バヤンホンゴル県ゴブド郡ツェルゲルという山岳砂漠地域の遊牧民と家族、その共同体（ホタイル）が、一年間山羊を育てながら、どう暮らすか。どのような社会問題を抱え、遊牧民は地域共同体を再生し、どう乗り越えようとしているかということをお貫雅男先生が撮影、監督し、伊藤恵子先生が編集し、解説を加えたものです。細胞を培養すれば、研究室で肉を生産できる時代になり、私たちが生き物の命を食べて、その恵みを活かし、文化を作って生きてきた歴史は、大きな曲がり角に来ていると書えるでしょう。そこで、人間が自然の中で生きていくという原点を見つめ直し、考えているモンゴル高原を中心とする中央アジア地域の現状や文化を理解するためには、当該地域において繰り広げられてきた歴史を学んでおく必要がある。この地域で古代から遊牧を営んできた諸民族の歴史を学び、現在のモンゴル民族につながる歴史上の流れを理解することを目的とする。
10A20 8	地域系	中央アジア史講義a	モンゴル高原を中心とする中央アジアの古代史、中世史、近代史	水谷 東洋	講義科目	日本語	現在のモンゴル民族の状況、特にモンゴル国、ロシア連邦、中華人民共和国に分かれて居住している状況を理解するためには、近現代史を詳しく学ぶ必要がある。近隣の民族、国家との地政学的な関係（特に日本近現代史との関わり）、当事者の民族内部の状況をふまえて、現在につながる近近のプロセスを理解することを目的とする。
10A20 9	地域系	中央アジア史講義b	モンゴル民族を中心とする中央アジアの近現代史	水谷 東洋	講義科目	日本語	この授業では、モンゴル語でプレゼンテーションを作っていきます。 ①3年生は、自分の生まれ故郷について、②卒論のテーマが決まっている4年生は、卒論について①の自分の生まれ故郷というのは、市町村単位で選んでください。その位置、自然条件、自分が選んだところ、学んだところ、自慢したいところ、なんとかしたいと思う課題について紹介してください。第二段階では、モンゴルとの関わりを探してみよう。 ②の卒論のテーマは、そのテーマを選んだ動機、章立てから考えていきましょう。 プレゼンテーションを3回行い、最終的にはモンゴル語のプレゼンテーションとして仕上げます。最終的には、モンゴル人前でプレゼンテーションします。 ③私から、今、モンゴルでどんなことが起こっているか、ニュースや動画を使って、授業の始まりの10分間を使って、紹介します。
10A21 8	地域系	モンゴル社会演習IIa	モンゴル語でプレゼンテーションを作る ① 3年生は 故郷 НҮТАГについて、4年生は 卒論のテーマについて	今岡 良子	演習科目	日本語	この授業では、モンゴル語でプレゼンテーションを作っていきます。 ①3年生は、友達に紹介したいモンゴルの何かについて、②卒論のテーマが決まっている4年生は、卒論について①友達に紹介したいモンゴルの何かとは、モンゴルの興味深さを選んでください。 第二段階の発表では、第一段階の発表からさらに発展したものか、別の新たなテーマを選んで構いません。 ②の卒論のテーマは、そのテーマを選んだ動機、章立てから考えていきましょう。 プレゼンテーションを3回行い、最終的にはモンゴル語のプレゼンテーションとして仕上げます。最終的には、モンゴル人前でプレゼンテーションします。
10A21 9	地域系	モンゴル社会演習IIb	モンゴル語でプレゼンテーションを作る ② 3年生は モンゴルについて、4年生は 卒論のテーマについて	今岡 良子	演習科目	日本語	この授業では、モンゴル語でプレゼンテーションを作っていきます。 ①3年生は、友達に紹介したいモンゴルの何かについて、②卒論のテーマが決まっている4年生は、卒論について①友達に紹介したいモンゴルの何かとは、モンゴルの興味深さを選んでください。 第二段階の発表では、第一段階の発表からさらに発展したものか、別の新たなテーマを選んで構いません。 ②の卒論のテーマは、そのテーマを選んだ動機、章立てから考えていきましょう。 プレゼンテーションを3回行い、最終的にはモンゴル語のプレゼンテーションとして仕上げます。最終的には、モンゴル人前でプレゼンテーションします。
10A22 4	地域系	モンゴル社会演習Ia	遊牧文化を家畜の恵みの物性の理論と実習で理解する（春から夏の季節の毛と乳製品）	今岡 良子	演習科目	日本語	春から夏にかけての家畜の恵みである毛、乳・乳製品の物性を理解し、実際に触り、加工し、作品を作ってみます。 するとこれまでの知識の世界とは違う世界が見えてきます。 手仕事を通じて考え、また五感を通じて認識を深め、遊牧文化と社会の理解の前提を作ることになります。
10A22 5	地域系	モンゴル社会演習Ib	遊牧文化を家畜の恵みの物性の理論と実習で理解する（秋から冬の季節の肉と内臓と血液と皮）	今岡 良子	演習科目	日本語	秋から冬にかけての家畜の恵みである皮革、肉・内臓、血液の物性を理解し、実際に触り、加工し、作品を作ってみます。 するとこれまでの知識の世界とは違う世界が見えてきます。 手作業を通じて考え、また五感を通じて認識を深め、遊牧文化と社会の理解の前提を作ることになります。
10A29 7	地域系	フィリピン言語演習b(B)	フィリピン諸島をめぐる東・東南アジアの言説空間（2）	宮原 暁	演習科目	日本語	本演習では、東・東南アジアの言説空間に関する理解を深めるために、言語に対する機能主義的なアプローチを下敷きとしつつ、研究を進めるための立ち位置を含めた、フィリピン諸島の広い意味での文化を研究する方法について学ぶ。受講生は、（1）に引き続き、まず研究論文で取り組むべき課題と、研究対象との向き合い方を自問しつつ、リーディング・リストの作成に着手する。その後、リーディング・リストに即した文献読解とディスカッション、受講者の口頭発表を通して、「研究する」とはどのようなことなのか、学んでいく。最終的に、各自の課題に即した研究動向レポートを作成する。
10A30 2	地域系	東南アジア社会文化演習IIa(C)	地域研究のためのカトリック入門	宮脇 聡史	演習科目	日本語	世界宗教の一つであるカトリックの教理、およびその提示方法を検討し、世界中に暮らすカトリック信徒たちが、その教えの故に直面すると思われる諸問題を議論、考察する。そのために、21世紀になって世界中のカトリック青年信徒のために作成されたテキストYouCat（日本語版）の内容を読み、参加者それぞれの地域の政治社会や宗教状況と照らして考える。教員は自身の専門であるフィリピンの場合について解説し、それが地域によってどう違うかを発題し、参加者は各専門の地域について調べながら、グローバルに展開するキリスト教に照らし、それぞれの地域が持つ特性を検討する。
10A36 6	地域系	東南アジア社会文化概論		小田 なら	講義科目	日本語	人々の生と死に直結する医療は、いつの時代も生活のなかで重要な問題である。近代国民国家の形成以降、現在に至るまで、政治の上でも医療の拡充が重要なトピックとなっている。 この講義は、仏領期以降のベトナムを中心に、「医療」をめぐる諸問題を通して、地域の文化の内在的な理解と歴史的な考察を深めることを目的とする。具体的には、第一に、健康・医療に関わる制度の構築と医療従事者・患者の動きを、ベトナムを中心に検討する。第二に、医療・健康問題に関する個別のテーマを取り上げ、東南アジアの政治・社会動向と人々の生活をふたいで理解する視座を提供する。
10A36 7	地域系	イスラーム世界概論	イスラーム世界概論	菅原 由美	講義科目	日本語	2020年現在、世界には19億人のムスリムが存在し、中東以上に、東南アジア、南アジア、アフリカにおいてムスリム人口の増加が著しく、もはや「イスラーム世界」と言っても、その多様性ゆえに、ひとまとめにすることは難しい。しかし、ムスリムを多く抱える地域を理解する上で、イスラームの基本を知ることは必須である。本講義では、複雑なイスラームの基本事項について一通り解説した上で、世界のムスリムが現在抱える諸問題についても議論し、参加学生に各国のムスリムが置かれている状況を総合的・多面的に見ることができるようになる。講義はリレー講義形式でおこなう。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10A44 9	地域系	ビルマ社会講義Ia	ビルマ研究の基礎 I	池田 一人	講義科目	日本語	本授業の目的は3つあり、第一にレポートや小論文・論文など学術的文章の基本的作法を学ぶこと、第二に資料収集・論文の講読・問題の発見と設定・議論・プレゼンテーション・論の組み立て方など、研究の基礎技法を学ぶこと、第三にビルマ世界の基礎知識とこれを題材にして意義ある議論に昇華させるための理論的枠組みについて学ぶこと、である。以上の3つの目的は、①論文講読と発表・議論、②卒論テーマの策定と小論文の執筆、という2つの授業課題を通して達成し、3年次以降の卒業論文の執筆に資する基礎的修養を身に着ける。2つの課題は以下の通りである。 ①論文講読と発表・議論： 第3～12回の授業で取り組む。毎回、指定論文を読んで疑問点・論点を用意する。授業では発表担当と司会担当を決める。授業前に司会担当者のもとに論文の疑問点・論点を授業前に集約し、集まった疑問点・論点をもとに司会が発表と議論を採配する。受講者は毎学期、発表と司会を必ず1回ずつ担当する。全員が毎回、レジュメ/要旨/ミニ書評を作成し提出する。 ②卒論テーマの策定と小論文の執筆： 授業外で毎学期2回程度行われるオンラインのグループ面談を通して、卒論テーマに関わる小論文（春夏は研究史論文、秋冬は第1事例小論文）執筆を目指した文献調査と講読、研究ノートづくりを各自のペースで進め、第13～15回の授業でクラス内発表を行い、学期末に小論文を提出する。
10A45 0	地域系	ビルマ社会講義Ib	ビルマ研究の基礎 II	池田 一人	講義科目	日本語	本授業の目的は3つあり、第一にレポートや小論文・論文など学術的文章の基本的作法を学ぶこと、第二に資料収集・論文の講読・問題の発見と設定・議論・プレゼンテーション・論の組み立て方など、研究の基礎技法を学ぶこと、第三にビルマ世界の基礎知識とこれを題材にして意義ある議論に昇華させるための理論的枠組みについて学ぶこと、である。以上の3つの目的は、①論文講読と発表・議論、②卒論テーマの策定と小論文の執筆、という2つの授業課題を通して達成し、3年次以降の卒業論文の執筆に資する基礎的修養を身に着ける。2つの課題は以下の通りである。 ①論文講読と発表・議論： 第3～12回の授業で取り組む。毎回、指定論文を読んで疑問点・論点を用意する。授業では発表担当と司会担当を決める。授業前に司会担当者のもとに論文の疑問点・論点を授業前に集約し、集まった疑問点・論点をもとに司会が発表と議論を採配する。受講者は毎学期、発表と司会を必ず1回ずつ担当する。全員が毎回、レジュメ/要旨/ミニ書評を作成し提出する。 ②卒論テーマの策定と小論文の執筆： 授業外で毎学期2回程度行われるオンラインのグループ面談を通して、卒論テーマに関わる小論文（春夏は研究史論文、秋冬は第1事例小論文）執筆を目指した文献調査と講読、研究ノートづくりを各自のペースで進め、第13～15回の授業でクラス内発表を行い、学期末に小論文を提出する。
10A45 5	地域系	東南アジア歴史概論a		富田 暁	講義科目	日本語	東南アジアは、古来より外部世界に「開かれ」、域内外との相互関係・影響のなかで歴史を紡いできた。そうした歴史的背景を持つ東南アジアのプレゼンスが現代世界で増大する現在、東南アジア史の概要を世界史の中で位置付けて理解する意義もまた大きくなっている。そうした能力獲得を目的として、本授業では、東南アジア域内だけでなく周辺世界との比較や関係に留意しつつ、先史時代から現代までの東南アジア史の概要を修得する。
10A45 9	地域系	東南アジア文化概論a	東南アジア映画漫遊	坂川 直也		日本語	東南アジアから、ベトナム、タイ、インドネシア、フィリピン、そしてビルマの映画を取り上げ、解説する。特定の文化や社会を理解するうえで映画はアプローチしやすい芸術の1つである。本授業では映画を通して、東南アジア地域の文化や社会の裏表を知り、現地の人たちと親しくなるためのきっかけを身につける。現地の大ヒット作を知ることで、人気のテーマや俳優、コメディアンを認識する。さらに人によっては、ヒット曲やモノマネも習得できるかもしれない。また、検閲制度や上映禁止作品を知ること、その社会のタブーを理解する。なにより、それぞれの学生たちが学んでいる言語地域の周辺にも関心を持つことで、おたがひ、学んでいる言語や地域の価値を認め合い、東南アジアを漫遊する動機と親しむ技術を修得する。
10A52 1	地域系	南アジア文化概論a(B)	ヒンドゥー教概説(1)	虫賀 幹華		日本語	インドの人口の約8割が信仰しているヒンドゥー教について、儀礼や祭礼を軸に概観する。現代のヒンドゥー教徒が、一日、一年、一生で何をおこなっているのかを順に説明しながら、必要に応じて神話を紹介したり、宗教史に立ち入りたりして解説する。異文化理解を深めるための授業である。
10A52 2	地域系	南アジア文化概論b(B)	ヒンドゥー教概説(2)	虫賀 幹華		日本語	インドの人口の約8割が信仰しているヒンドゥー教について、儀礼や祭礼を軸に概観する。現代のヒンドゥー教徒が、一日、一年、一生で何をおこなっているのかを順に説明しながら、必要に応じて神話を紹介したり、宗教史に立ち入りたりして解説する。異文化理解を深めるための授業である。
10A54 0	地域系	南アジア文化概論a(A)	南アジア文化の諸相の理解	山根 聡	講義科目	日本語	南アジア文化の理解のために、近代以降、現代にいたるまでの文学作品などを鑑賞し、これに解説を加えることで、現地資料に直接触れ、南アジア文化の理解に努める。特に宗教間対立について、インド・パキスタンの分離独立から現在の対テロ戦争までの状況を、歴史的展開とともに解説する。
10A54 1	地域系	南アジア文化概論b(A)	南アジア文化の諸相の理解	山根 聡	講義科目	日本語	南アジア文化の理解のために、近代以降、現代にいたるまでの文学作品などを鑑賞し、これに解説を加えることで、現地資料に直接触れ、南アジア文化の理解に努める。特に宗教間対立について、インド・パキスタンの分離独立から現在の対テロ戦争までの状況を、歴史的展開とともに解説する。
10A59 5	地域系	現代アラブ地域概論a	アラビア・イスラム文化とその周辺	中西 悠喜	講義科目	日本語	現代アラブ地域で生じる多様な問題を総合的に理解するためには、イスラム教全般にかんする知識が不可欠である。本講義では、イスラム史における文化的・政治的な次元、とりわけ広い意味での「知」の歴史に焦点をあてることで、当該地域にまつわる現代的諸問題を俯瞰的に捉えなおす。その際、「信仰と理性」「宗教と科学」といった安易な二項対立によって覆い隠されてしまう、イスラム教内部の論理と諸概念の布置に注意を払う。なお、後期に開講予定の現代アラブ地域概論bは、本講義の内容を発展的に継承するものである。後期履修希望者は本講義もあわせて履修することをつよく勧める。
10A65 7	地域系	イラン言語・歴史概論Ia	イランを中心とする西アジアの歴史と地理	吉田 雄介	講義科目	日本語	本講義の目的は、イランに関する歴史的・地理的な幅広い知識の獲得にある。具体的には、イランを中心に西アジアの地理を歴史的側面から講ずる。そもそも場所や地域は多様な構成要素から成り、また現在の積みや場所の姿は過去の積み重ねの上に形成されている。その中で、「イラン」という地域や場所は、過去の積み重ねの中で理解されねばならないし、他の地域との関係の中で理解されねばならない。そこで、本講義では、地域間の関係性を重視する世界システム論的なパースペクティブから、時代的には先史時代から現在まで幅広く扱うことにする。また、時代ごとにイラン西部や東部といった特定の地域に注目しながら授業を進めていきたいと思う。
10A65 9	地域系	イラン言語・歴史概論IIa	イラン歴史文化概論	木下 実紀	講義科目	日本語	イランがどのような歴史文化を有しているのかを理解するために、人々が営む歴史的・宗教的行事について概説する。
10A70 6	地域系	トルコ語学概論a	世界史の中のトルコ人とトルコ共和国の地理と文化	大澤 孝	講義科目	日本語	本授業ではユーラシア草原のトルコ系遊牧民の言語や歴史文化について述べた後、イスラーム化以後のトルコ共和国の地理、気候、産業や文化遺産について、7つの地域に渡って概観する。
10A70 7	地域系	トルコ語学概論b	オスマン帝国の形成発展からトルコ共和国の成立へ	大澤 孝	講義科目	日本語	本授業では、オスマン帝国の前身であるルーム・セルジューク時代から、オスマン帝国の形成と発展、そして没落の時代から共和国誕生までの流れに沿って、説明し、各時代の特徴や時代背景についてより理解を深めるべく学習していく。
10A72 5	地域系	トルコ語学演習a	テュルク民族の歴史と文化	海野 典子	演習科目	日本語	中央ユーラシア各地のテュルク民族の歴史と文化を学ぶ。
10A72 6	地域系	トルコ語学演習b	テュルク民族の歴史と文化(春～夏学期の続き)	海野 典子	演習科目	日本語	中央ユーラシア各地のテュルク民族の歴史と文化を学ぶ。
10A72 7	地域系	トルコ文学演習a	トルコ地域文化論	宮下 遼	演習科目	日本語	修士号学位請求論文の執筆を目的とする授業であるから、 ・各人は自らの研究テーマと密接にかかわる論文、文献、史料/資料を自力で探索、選別する能力 ・上記の文献・史料/資料を適切に扱い分析・考察の上で中立的な学術的結論を導き出す能力 を実践すること。
10A72 8	地域系	トルコ文学演習b	トルコ地域文化論	宮下 遼	演習科目	日本語	修士号学位請求論文の執筆を目的とする授業であるから、 ・各人は自らの研究テーマと密接にかかわる論文、文献、史料/資料を自力で探索、選別する能力 ・上記の文献・史料/資料を適切に扱い分析・考察の上で中立的な学術的結論を導き出す能力 を実践すること。
10A75 7	地域系	アフリカ地域論概説a		中川 千華	講義科目	日本語	授業の目的：受講生が、アフリカの多様な暮らしについて、現実に即して学ぶこと。現地で育まれてきたこと(知識・経験など)と、地域の外から持ち込まれるあらたな価値観や情報との融合やぶつかりの様子を理解し、「わたしたち」と「かれら」とのつながりを見出すことを試みる。 概要：事例としては主に、西アフリカにおける生業や資源管理、文化、社会問題を取り上げる。必要に応じて、映像、音声資料などを用いる。毎回コメントシート(CLE)の提出を求める。
10A76 3	地域系	アフリカ言語学講義a	アフリカ言語学入門：世界の言語とアフリカの諸言語(言語と社会の観点から)	小森 淳子	講義科目	日本語	この講義の目的は、アフリカの諸言語について、系統分類や分布地域などの基本情報を知り、アフリカ諸言語の類型論的特徴や、社会言語学的状況を学び、理解することである。 まず、世界の諸言語とアフリカの言語について、分布地域や系統分類、歴史、それぞれの語派の特徴について概説する。そして、世界の国々と比較しながら、アフリカ諸国の言語状況や言語政策などを概観し、社会言語学的状況について詳しくみていく。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10A76 4	地域系	アフリカ言語学講義b	アフリカ言語学概論：言語学的基础知識から学ぶ	小森 淳子	講義科目	日本語	この講義の目的は、アフリカの諸言語について、その言語学的特徴を理解することである。言語学的特徴を理解するには、言語学について基礎知識が必要になる。そこで本講義では、言語学の基礎的な知識を学び、アフリカの諸言語の言語学的特徴の理解に結び付ける。具体的にはまず、音声学、音韻論の基礎について解説、説明し、練習問題を解きながら、実際のアフリカ言語の音声、音韻の特徴について解説する。さらに、形態論の基礎知識について解説し、練習問題を解きながら理解を深め、アフリカの諸言語の形態論の特徴について解説する。
10A77 1	地域系	アフリカ地域講義1a	西アフリカ・ビジン英語	塩田 勝彦	演習科目	日本語	ビジン英語はシエラレオネからカメルーンにかけての西アフリカ海岸地帯で広く話される共通語であり、ジャマイカやトリニダード・トバゴ、スリナムなど、カリブ海地域で話される英語クレオールとも類似した言語である。これらの地域を知るために必要なビジン・クレオール文化への理解を深めるため、まず言語を理解するところから始めて、民話や音楽へと手を広げていきたい。授業ではカメルーン・ビジン（ウェスコス語）の文法を学ぶ。
10A77 2	地域系	アフリカ地域講義1b	地域研究からよみ解くアフリカ世界	藤井 千晶	講義科目	日本語	現在、サハラ以南アフリカで起こっている現代的なトピックについて、地域研究がどのような視点で考察した研究を取り上げて考察する。
10A84 4	地域系	ロシア学入門a	ロシア学に関する論文執筆の基礎を学ぶ	高橋 健一郎	講義科目	日本語	学術研究の基本を講義やプレゼンテーション、ディスカッションを通して学ぶ。個々のリサーチを進め、3-4年次の研究につながるようなリサーチペーパー（日本語10000字以上）を完成させる。
10A84 9	地域系	ロシア語学講義11b		高橋 健一郎	講義科目	日本語	初等文法では扱われない中上級のロシア語の文法事項を講義を通して学び、問題文を訳読したり、練習問題を解きながら、その用法に習熟することを目的とする。
10A90 3	地域系	ハンガリー文化講義111a	現代ハンガリーの政治経済と社会	柳原 剛司	講義科目	日本語	ハンガリーの政治・経済・社会の現状についてその背景・相互の連関も踏まえながら学習する。ハンガリーの社会科学分野における専門的な勉強、あるいは卒業論文執筆にあたっての必須の知識を獲得する。
10A90 4	地域系	ハンガリー文化講義111b	フィンランド語初級	山川 亜古	講義科目	日本語	ハンガリー語と同じウラル諸語に属し、親戚関係にあるフィンランド語の初歩を学ぶことで、新しい言語感覚を身につける。
10A92 2	地域系	ハンガリー研究入門11a	フィンランド語初級	山川 亜古	講義科目	日本語	ハンガリー語と同じウラル諸語に属し、親戚関係にあるフィンランド語の初歩を学ぶことで、新しい言語感覚を身につける。
10A97 8	地域系	北欧現代社会概説a	スウェーデン現代社会概説	高橋 美恵子	講義科目	日本語	スウェーデンが福祉国家の一つのモデルとなるに至った背景・変遷を人権と平等の視点から捉え、現代社会における課題を発見する力を養う。ライフスタイルの多様性と社会的包摂というキーワードを切り口として、スウェーデンの家族・教育・労働等、諸分野における知見を探求し、日本との比較考察も行う。授業では、グループによる研究発表も課し、討論する機会をもつ。
10A97 9	地域系	北欧現代社会概説b	デンマーク社会概説	森田 麻記子	講義科目	日本語	目的：現代デンマーク社会についての基礎的な知識を身につけ、自ら考察と分析を加えて理解を深める。 概要：デンマーク社会に関する基礎的な理解を習得することを目的とした講義形式と学生自らが考察と分析を加え発表することを通して更に理解を深める討論及びグループ発表を組み合わせた授業を行う。デンマーク社会への理解を深めることに加え調査計画の立案、実施、結果の考察等を通じて研究に必要なスキルの獲得と向上も意図している。
10A98 2	地域系	北欧史概説a	北欧史概説～古代から近世の北欧から歴史をどう考えるか？	古谷 大輔	講義科目	日本語	この授業は、各専攻で学ぶ言語が用いられている地域を歴史学的な観点から考察する際の助として、北欧を例に歴史学的な観点に立った地域探求の方法を講義します。春・夏学期は、北欧がキリスト教を受容する前の先史時代から啓蒙専制が展開した18世紀後半までの歴史を対象とします。この時代の北欧を例に日本の西洋史学研究で提示されている論点を応用しながら、北欧のような特定の地域を歴史学的に観察する実践的な方法を紹介します。
10B17 4	地域系	アメリカ文学・文化概論a	アメリカ文学・文化史Ⅰ（植民地時代から20世紀初頭）	岡本 大助	講義科目	日本語	この授業では、植民地時代から20世紀初頭に至るアメリカ文学・文化について、各時代の歴史的、社会的、文化的背景を視野に入れた、代表的な作家と作品の特質を具体的に英文テキストの抜粋を用いてわかりやすく解説し、散文、小説、詩、劇の各ジャンルにおいて、アメリカ的想像力がいかなる変遷を遂げてきたかを過時的に概観します。アメリカ社会・文化の諸相を照射する有効なメディアとしてアメリカ文学の問題意識と方向性を考えることにより、文学を通してアメリカを見る・考える・読み直す「アメリカ文学・文化論」の視野・視点を習得することを目的とします。 以上の目標に加え、アメリカン・スタディーズの一環として、文化史の観点から興味深いテーマを毎回、数項目取り上げ、実験国家アメリカの諸相を政治、経済、歴史、文化、芸術、宗教などの視座から共時的に浮き彫りにしていく予定。ジェンダー、エスニシティ、アート、メディア、大衆文化、テクノロジー、音楽、思想、文学・文化批評理論などの基本的知識を習得するとともに、合衆国が抱える今日の課題についても多角的に分析できる能力を養います。
10B17 5	地域系	アメリカ文学・文化概論b	アメリカ文学・文化史Ⅱ（20世紀初頭から現代）	岡本 大助	講義科目	日本語	この授業では、20世紀初頭から現代に至るアメリカ文学・文化について、各時代の歴史的、社会的、文化的背景を視野に入れた、代表的な作家と作品の特質を具体的に英文テキストの抜粋を用いてわかりやすく解説し、散文、小説、詩、劇の各ジャンルにおいて、アメリカ的想像力がいかなる変遷を遂げてきたかを過時的に概観します。アメリカ社会・文化の諸相を照射する有効なメディアとしてアメリカ文学の問題意識と方向性を考えることにより、文学を通してアメリカを見る・考える・読み直す「アメリカ文学・文化論」の視野・視点を習得することを目的とします。 以上の目標に加え、アメリカン・スタディーズの一環として、文化史の観点から興味深いテーマを毎回、数項目取り上げ、実験国家アメリカの諸相を政治、経済、歴史、文化、芸術、宗教などの視座から共時的に浮き彫りにしていく予定。ジェンダー、エスニシティ、アート、メディア、大衆文化、テクノロジー、音楽、思想、文学・文化批評理論などの基本的知識を習得するとともに、合衆国が抱える今日の課題についても多角的に分析できる能力を養います。
10B17	地域系	イギリス文学・文化概論a	イギリス文学史（前半）	畑田 美緒	講義科目	日本語	イギリス文学の歴史を、8世紀ごろから18世紀ごろまで概観する。
10B17	地域系	イギリス文学・文化概論b	イギリス文学史（後半）	畑田 美緒	講義科目	日本語	18世紀ごろから20世紀までのイギリス文学史について概観する。
10B17 8	地域系	アメリカ史概論a	現代アメリカを歴史的に読み解くー植民地時代から南北戦争後の再建期まで	伊藤 孝治	講義科目	日本語・英語	植民地時代から南北戦争後の再建期にかけてのアメリカ合衆国の歴史を振り返ることで、現在の多文化・多入植国家のアメリカがどのように成立してきたのかを検討する。同時に、多文化・多入植国家であるアメリカの社会が現在直面している問題が歴史的にどのように発生してきたのかについても論じる。
10B18 0	地域系	イギリス文化概論a	イギリス政治入門	藤山 一樹	講義科目	日本語	本講義ではイギリス政治を多面的に概観する。授業の出発点は、現代イギリス政治を取り巻く問題が凝縮している〈Brexit（イギリスのEU離脱）〉である。続いてイギリス政治の〈デモクラシー〉という枠組みを、制度に着目して分析する。中間試験を挟んだ後半は5つのキーワードを軸に、イギリス政治の過去と現在をより広い視野から検討する。
10B18 2	地域系	英語学講義a	記述・理論英文法の基本:学校文法を超えて	田村 幸誠	講義科目	日本語	現在の記述言語学的英文法の最高峰と言える以下のDixonのテキストを再読しながら授業を進める。授業を通じて英文法の知識・考え方が深まること目標としている。考えることが多いので地味でしんどい授業になるかもしれませんが、90分毎回集中して理論的な文法研究の基礎を作っていきたいと思っています。
10B18 3	地域系	英語学講義b	記述・理論英文法の基本:学校文法を超えて（2）	田村 幸誠	講義科目	日本語	前期のテキストの後半部分、より実践的なところに入ります。現在の記述言語学的英文法の最高峰と言える以下のDixonのテキストを再読しながら授業を進める。授業を通じて英文法の知識・考え方が深まること目標としている。考えることが多いので地味でしんどい授業になるかもしれませんが、90分毎回集中して理論的な文法研究の基礎を作っていきたいと思っています。
10B18 4	地域系	イギリス文学・文化講義a	19世紀後半～20世紀初頭のイギリス小説（1）	畑田 美緒	講義科目	日本語	19世紀後半～20世紀初頭のイギリス小説の代表的な作品を原文で読み、その内容について理解すると同時に、作品の成立した時代や社会などの背景知識についても学習する。
10B18 5	地域系	イギリス文学・文化講義b	19世紀後半～20世紀初頭のイギリス小説（2）	畑田 美緒	講義科目	日本語	第1学期に引き続き、19世紀後半～20世紀初頭のイギリス小説の代表的な作品を原文で読み、その内容について理解すると同時に、作品の成立した時代や社会などの背景知識についても学習する。
10B18 6	地域系	イギリス文化講義a	シェイクスピアと英西戦争ー戦争と経済と演劇ー	中村 未樹		日本語	16世紀後半においてイングランドとスペインの間で行われた戦争（英西戦争）は当時のイングランドの社会と文化に大きな刻印を残しました。1588年のアルマダ海戦の後、1590年代初頭からシェイクスピアは劇作家として活動を始めています。英西戦争を通じて形成された当時の文化と思考がシェイクスピア作品がいかなる影響を受けているか、また彼の演劇が社会的メディアとして同時代の社会にどのような影響を及ぼしたのか、という二つの側面から、16世紀末～17世紀初頭の演劇と社会の関係を再考していきます。
10B18	地域系	イギリス文化講義b	1600年代のイギリスの社会と演劇	中村 未樹		日本語	この授業では1600年～1610年のイギリスにおける社会と演劇について扱います。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10B18 8	地域系	アメリカ文学・文化講義a	現代アメリカ短編小説を読む	近藤 佑樹	講義科目	日本語	この授業では、1970年から2020年までの50年間に発表された短編小説を集めた短編集を順に読んでいき、それぞれの作家の描く世界を考察するとともに、書かれた当時の時代背景を行間から読み取り、現代アメリカ表象の変遷も辿っていきます。前期では、指定教科書の前半部分を読みます。授業は担当者によるプレゼンテーションを主軸として、クラス全体でもその短編のテキスト分析を行います。収録作の中でもとりわけ短い作品の場合は担当者を決めずに受講者全員の意見をディスカッションに取り入れます。期末には作品を一つ選び、詳細な分析に基づいたレポートを提出してもらいます。
10B18 9	地域系	アメリカ文学・文化講義b	現代アメリカ短編小説を読む	近藤 佑樹	講義科目	日本語	この授業では、1970年から2020年までの50年間に発表された短編小説を集めた短編集を順に読んでいき、それぞれの作家の描く世界を考察するとともに、書かれた当時の時代背景を行間から読み取り、現代アメリカ表象の変遷も辿っていきます。後期では、指定教科書の後半部分を読みます。授業は担当者によるプレゼンテーションを主軸として、クラス全体でもその短編のテキスト分析を行います。収録作の中でもとりわけ短い作品の場合は担当者を決めずに受講者全員の意見をディスカッションに取り入れます。期末には作品を一つ選び、詳細な分析に基づいたレポートを提出してもらいます。
10B45 2	地域系	フランス研究入門Ia	フランス文学概説	篠原 学	講義科目	日本語	中世から19世紀前半にかけてのフランス文学の代表的な作品を順を追って紹介し、フランス文学の流れを概観する。毎回の講義のあとでリアクションペーパーに取り組み、要点を整理する。
10B45 3	地域系	フランス研究入門Ib	フランス文学概説	篠原 学	講義科目	日本語	19世紀後半および20世紀のフランス文学の代表的な作品を順を追って紹介し、フランス文学の流れを概観する。毎回の講義のあとでリアクションペーパーに取り組み、要点を整理する。
10B45 4	地域系	フランス研究入門IIa	フランスの地理と歴史	岡田 友和	講義科目	日本語	フランスの特徴を地域圏、県、都市、海外領およびフランス語圏の地理的な側面から学習する。春～夏学期の授業ではフランスの南部地域とパリおよびイル＝ド＝フランスを中心に眺め、各地域圏と県および主要都市の地理とともに、それぞれの歴史、文化、社会、経済の特徴を文献や資料から把握する。
10B45 5	地域系	フランス研究入門IIb	フランスの地理と歴史	岡田 友和	講義科目	日本語	フランスの特徴を地域圏、県、都市、海外領およびフランス語圏の地理的な側面から学習する。秋～冬学期の授業ではフランスの北部地域と海外領、フランス語圏を中心に眺め、各地域圏と県および主要都市の地理とともに、それぞれの歴史、文化、政治、社会、経済の特徴を文献や資料から把握する。
10B52 3	地域系	イタリア言語文化概説Ia	現代イタリア文学（前編）	柴田 瑞枝	講義科目	日本語	"20世紀（主に戦後）イタリア文学作品を取り上げ、フェミニズムやジェンダー論の視点を取り入れながら読んでいきます。従来の圧倒的に男性作家中心の文学史のありようを見つめ直し、様々なイタリア文学作品に触れることを目指します。"
10B52 5	地域系	イタリア言語文化概説IIa	イタリア史概説（古代～中世）	中山 明子		日本語	古代から中世にかけての歴史を題材にして、イタリア語とイタリア文化を学ぶための基礎的な知識を身につける。中世を中心に社会的テーマ（食・家族・言説等）に触れることで、当時の社会と文化の関係についても理解する。授業の構成は以下の通りです。①資料に関するグループ討議、②PowerPointを使用した講義、③内容に関する疑問や意見のコメントシートへの記入 ③のコメントシートの記入内容については、次の授業の冒頭に全体フィードバックを行います。
10B59 9	地域系	スペイン歴史・文化概説a	スペインの歴史（1）（スペインの地理、古代から近世初期までの歴史）	大内 一	講義科目	日本語	スペイン研究の基礎として、スペインの地理、歴史・文化を概観する。スペインの地理を確認する。次にスペインの歴史について、前ローマ時代、ローマ時代、西ゴート時代を概観した後、スペインの地域的多様性を意識しながら、いわゆるレコンキスタの時代およびハブスブルク朝前期のスペインの歴史を学ぶ。
10B60 1	地域系	スペイン語学概説a	スペイン語学概説	長谷川 信弥	講義科目	日本語	スペイン語を単なるコミュニケーションの道具ではなく学術研究の対象として捉え、言語学的観点からスペイン語の分析をおこなうための基礎となる知識を身につけます。
10B69 2	地域系	ポルトガル語圏文化概説a	ブラジル研究入門：ブラジルの地理と歴史	河合 紗織		日本語	この授業は、ブラジル研究の入門科目として、ブラジルの基本的な事柄を広く知ることを目的とする。授業の内容はブラジルを中心とするが、ラテンアメリカ地域に共通する事柄にも言及する。春夏学期は、主として地理と歴史を学び、3年生次以降の学習のための基礎をつくる。
10B69 3	地域系	ポルトガル語圏語学概説a	ポルトガル語研究の前提と基礎知識a	坂東 照啓	その他	日本語	1. ポルトガル語で書かれた言語分野のテキストの読解力養成に努めながら、ポルトガル語言語研究のために必要な基本概念を理解する。 2. ポルトガル語と日本語（及びその他の言語）との、言語学（類型論）的な観点からの構造的・体系的差異を認識・認識できるようにする。
10B69 4	地域系	ポルトガル語圏語学概説b	ポルトガル語研究の前提と基礎知識b	坂東 照啓	講義科目	日本語	ポルトガル語に観察される文法現象を言語学的、体系的に把握、整理することができるようになり、ポルトガル語文法のテーマでの研究ができる基本的な考え方を身に付けること。
10B69 5	地域系	ポルトガル語圏文学概説a	ブラジル文学史	平田 恵津子	講義科目	日本語	ブラジル文学史の大枠をつかんだうえで、各時代を代表する作品を原語（ポルトガル語）で読解するとともに、背景となった大航海時代以降のブラジルの国、文化、社会、民族形成のプロセスを理解する。
10B69 6	地域系	ポルトガル語圏文学概説b	ポルトガル文学史の概観	上田 寿美	演習科目	その他	中世から現代にかけてのポルトガル文学の流れについて概観しつつ、各自時代を代表する個々の作品の特徴についての知識を深める。
10B75 4	地域系	日本語教育学概説	日本語教授法入門	宮崎 玲子	講義科目	日本語	日本語を日本語非母語話者に教えるにあたって必要な知識や教授法、評価法などの基礎を概観し、日本語を教える基礎知識を身につけます。また、日本語学習者が遭遇するであろう言語的、文化的、情意的問題について知り、それに対処する方法を考えます。
10B75 5	地域系	対照言語学概説	対照言語研究とはじめ	金谷 由美子	講義科目	日本語	日本語と他の言語（留学生の場合は母語と日本語等）を対照させることにより、言語に対する知識・関心を深め、言語研究や語学学習・語学教育への関心につなげることを目的とする。担当者が扱う言語は、日本語、英語、韓国語、中国語だが、留学生の母語や学生の専攻語についての知見を取り入れた授業を目指す。
10B75 6	地域系	日本語学概説		鴻野 知曉	講義科目	日本語	日本語を学問として研究する上で必須かつ基本的な知識を学ぶ。 文字・表記、語彙・意味を対象とし、言語哲学や歴史的変遷についての話をおりませつつ、我々が使っている言葉について多角的に考えてみたい。 なお、授業中に参考文献を多数紹介する。期末試験は容易ではないので、授業外で十分な時間をかけて主体的に自習することが望まれる。
10B75 8	地域系	日本語学講義Ia	現代日本語の文法	鴻野 知曉	講義科目	日本語	現代日本語文法に関する主要なトピックを取り上げて考察する。 我々が普段使っている表現をはじめとして、具体的な用例の観察・分析を通し、自分の頭で文法的に考えるという訓練を行う。受講者が言葉に対する関心を深め、能動的に身の回りの日本語について分析できるようにすることを旨とする。
10B76 0	地域系	日本語学講義IIa	音象徴と音声学	教員未定	講義科目	日本語	この授業では、音象徴（sound symbolism）という現象を通して、言語学の下位分野の一つである音声学の基本を学んでもらいます。たとえば、「サタカ」さんと「ワマナ」さんという2人の女性がいたとして、皆さんはどちらの女性が「おっとりしている」と感じるでしょうか。おそらく多くの人が「ワマナ」さんを選ぶでしょう。これが音象徴と言う現象の一端です。このような現象の背後には、とても面白い音声学的な事実が存在しています。こういったことを紹介しつつ、皆さんには、音声学の基礎中の基礎を学習してもらいます。
10B76 2	地域系	日本文化学講義IIa	日本人形玩具文化	ベレジコワ タチアナ	講義科目	日本語	本講義では人形を切り口に、日本文化を再考することを目的とする。具体的には、古代から現代まで、人形の歴史を概観することを通して、日本文化における人形の役割とその変遷について考察し、日本文化を再考する。
10B76 4	地域系	日本語教育学講義Ia	日本語教育の諸問題	筒井 佐代	講義科目	日本語	話し言葉の文法、女ことば・男ことば、役割語、スピーチレベル、発話のコミュニケーション上の機能と言語行動など、日本語教育における話し言葉の指導と社会的文化的能力の養成に関する諸問題について学ぶ。日本語教育においてどのような教育内容を扱うべきかを考えるための視点を得ることに加えて、実際のデータを収集し分析することによって、日本語に関する様々な現象を観察・分析しながら話し言葉の研究方法を学ぶ。
10B79 1	地域系	書道a	中国書道史	松宮 貴之	演習科目	日本語	近現代の毛筆書道の事情として、それは硬筆や情報端末の入力によって変わられて、その行き場が、書「表現」になっている。 そもそも「用の美」から発達した書は、その長い伝統を基幹に持つ芸術と言えます。よってまずは「古典」に習熟し、その後、コンテンポラリー性を踏まえた創造的な芸術表現を目指す。
10B79 2	地域系	書道b	日本書道史	松宮 貴之	演習科目	日本語	言語文化、言語芸術としての書の歴史を理解し、現代の表現としての在処を模索する。 さらに日本文化、日本史の中で、書の位置づけを行い、芸術、文化としての書に取り組み、より豊かな芸術表現を目指す。 近代前のような言語的思考と伴った毛筆書道表現の美のカチを回復する試みでもある。
10B93 4	地域系	ハンガリー研究入門Ia	ハンガリー研究入門	鈴木 広和	演習科目	日本語	この授業ではハンガリーに関するさまざまな知識を身につけ、自身の関心ある研究テーマが、どのような分野なのかを認識できるようにすることを目的とし、前半（春学期）には教科書の内容を分担して発表し、後半（夏学期）には各自が自由に興味あるテーマについて調べ発表する。

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10B93 8	地域系	日本文学講義IIIa	日本文学講義IIIa	永原 順子	講義科目	日本語	日本の伝統芸能の1つである「能」は、様々な文化事象の影響をうけて室町後期に成立した。その後も、文化事象と相互に影響しあいながら伝承されている。本講義では、能を軸として多くの日本文学事象について触れ、日本文学の理解を深めることを目指す。
10B94 5	地域系	日本語教育講義IIIa	日本語教育のための第二言語習得論	櫻井 千穂	講義科目	日本語	将来、言語教育特に日本語教育の分野で活躍するために、第二言語習得論の専門的基礎知識を学ぶ。また日本語教育の分野で卒業論文を書くことを念頭に置いている受講生に、研究方法の知識を身につける手助けをする。
10B94 6	地域系	日本文学概論	日本文学概論	永原 順子	講義科目	日本語	日本には大小様々な祭が存在するが、それらは日本文化の重要な側面である。本講義では、日本の祭とその周辺の事象を紐解き、国内外の多様な祭と相互比較することによって日本文化の変容と再生産をより深く理解することを目指す。
10B98 2	地域系	英語史概論a	英語の歴史の変遷を探る	大津 智彦	講義科目	日本語	千数百年にわたる英語の歴史を、英語という言葉自体の変化（内面史）とそれに影響を与えた社会的事象（外面史）の両面から考察する。
10B98 3	地域系	英語史概論b	英語の歴史の変遷を探る	大津 智彦	講義科目	日本語	春夏学期に引き続き、千数百年にわたる英語の歴史を、英語という言葉自体の変化（内面史）とそれに影響を与えた社会的事象（外面史）の両面から考察する。
10B98 4	地域系	英語学概論a	英語学の入門講義	田村 幸誠	講義科目	日本語	本講義では、英語という言語の形式的特性、および社会的特性にかんする総合的な講義を行います。英語は国際語とされています、先に述べた特性を他の言語のそれらと比較することで英語の特徴に関して客観視できる視点を持つようになることが本講義の目的です。また異文化間コミュニケーションの基礎に関しても説明・講義を行います。
10B98 5	地域系	英語学概論b	英語学入門II 本講義は英語学概論aを踏まえて、入門から少しレベルをあげた講義を行う。特に「知識の実践」に焦点を当てた講義をおこなう。	田村 幸誠	講義科目	日本語	本講義では英語学における具体事例を分析することを通じてより実践的な英語の知識、言語学の知識を身につけることを目的とする。
10C06 4	地域系	ドイツ語圏文化概論a(A)	ドイツ文学・演劇入門	北岡 志織	講義科目	日本語	ドイツ語圏の文学や演劇が社会をいかに反映させてきたか、あるいは社会に対してその都度いかなる問いを投げかけたのか、歴史的な流れから学ぶ。
10C06 5	地域系	ドイツ語圏文化概論b(A)	ドイツ文学・演劇史入門——社会の鏡としての文学・演劇——	北岡 志織	講義科目	日本語	ドイツ語圏の文学や演劇が社会をいかに反映させてきたか、あるいは社会に対してその都度いかなる問いを投げかけたのか、歴史的な流れから学ぶ。後期は19世紀～21世紀の作品について講義を行う。
10C12 7	地域系	ドイツ語圏文化概論a(C)	ドイツの近現代史を学ぶ	進藤 修一	講義科目	日本語	1年次に習得したドイツ語運用能力を用い、2年次以後のドイツ地域研究をおこなうための基盤を形成する。
10C12 8	地域系	ドイツ語圏文化概論a(B)	ドイツ語圏文化概論a(B)	濱田 洋輔	講義科目	日本語	本講義は、ドイツ語圏の重要な哲学者・思想家の考えの大半を学ぶことで、ドイツ語圏の哲学・思想に関する全般的な知識を得ることを目的とする。但し、ドイツ語圏の哲学を十分に理解するには西洋哲学の歴史を知る必要がある為、本講義はドイツ語圏の哲学・思想の他に、古代ギリシャ哲学および近代（デカルト）以降の重要な西洋哲学・思想も少なからず対象とする。 そうした様々な哲学・思想を扱うにあたって、本講義では、——どれほど有名な哲学者であってもその考えが絶対的なものではないこと、哲学的立場は自ら決定しなければならないことを示すため——哲学者間の思想の対比・相違を強調したい。 また、折に触れて現代の心理学や神経科学、行動経済学などの話も簡単に紹介したい。
10C12	地域系	ドイツ語圏文化概論b(C)	文化で学ぶドイツ現代史	進藤 修一	講義科目	日本語	2年次以後のドイツ地域研究をおこなうための基盤を形成する。
10C13 0	地域系	ドイツ語圏文化概論b(B)	ドイツ語圏文化概論b(B)	濱田 洋輔	講義科目	日本語	本講義は、ドイツ語圏の重要な哲学者・思想家の考えの大半を学ぶことで、ドイツ語圏の哲学・思想に関する全般的な知識を得ることを目的とする。但し、ドイツ語圏の哲学を十分に理解するには西洋哲学の歴史を知る必要がある為、本講義はドイツ語圏以外の重要な西洋哲学・思想も少なからず対象とする。講義終盤では生物学者も扱い、進化論の基礎と人間理解におけるその意義についても説明する。 そうした様々な哲学・思想を扱うにあたって、本講義では、——どれほど有名な哲学者であってもその考えが絶対的なものではないこと、哲学的立場は自ら決定しなければならないことを示すため——哲学者・思想家間の主張の対比・相違を強調したい。 また、折に触れて現代の心理学や神経科学の話も——講義終盤では特に進化論との関連において——紹介したい。
10C17 3	地域系	ドイツ語圏文化概論a(D)	ドイツ言語学入門A	中川 裕之	講義科目	日本語	「世界の中のドイツ語」「音韻論」「形態論」「統語論」「意味論」「語用論」「文法論」「ドイツ語教育」「翻訳論」「対照言語学」などの分野である。それぞれの分野の理論的な枠組みや研究の現状を学び、自分の興味のある分野がそれらのどこに、どのように位置づけられるのかを探し、今後の自分の研究テーマを探し、アプローチの仕方を学び、言語学的に探求していく能力が養えるように進めていく。
10C17 4	地域系	ドイツ語圏文化概論b(D)	ドイツ言語学入門B	中川 裕之	講義科目	日本語	「世界の中のドイツ語」「音韻論」「形態論」「統語論」「意味論」「語用論」「文法論」「ドイツ語教育」「翻訳論」「対照言語学」などの分野である。それぞれの分野の理論的な枠組みや研究の現状を学び、自分の興味のある分野がそれらのどこに位置づけられるのかを探し、今後の自分の研究テーマを探し、アプローチの仕方を学び、言語学的に探求していく能力を養うことを目的とする。
10C22 4	地域系	アメリカ歴史・政経講義a	衝突の日米関係史（1）—黒船来航から真珠湾への道	伊藤 孝治	講義科目	日本語・英語	この授業では、1853年から第二次世界大戦に至るまでの日米関係の歴史を振り返ることで、現在の日本とアメリカの関係がどのように形成されてきたのかを検討する。 また、日本とアメリカが今日直面している問題が歴史的にどのように生じてきたかを講義する。
10C22 5	地域系	アメリカ歴史・政経講義b	衝突の日米関係史（2）—敗戦から「ナンバー1」としての日本」への道	伊藤 孝治	講義科目	日本語・英語	この授業では、第二次世界大戦から現在に至るまでの日米関係の歴史を振り返ることで、現在の日本とアメリカがどのように形成されてきたのかを検討する。 また、日本とアメリカが今日直面している問題が歴史的にどのように生じてきたかを講義する。
10C46 1	地域系	東南アジア社会概論a	東南アジア近現代史I	池田 一人	講義科目	日本語	現代東南アジア世界の理解に資するため、その直近の過去である近現代を中心とした歴史展開を把握することを第一の目的とする。そのうえで第二に、各時期・各地域に材を取った研究論文をピックアップして講読し、東南アジア近現代史上のどのような問題がいかに論じられるかを学ぶことも目的とする。卒業論文執筆を見据えて、歴史や社会に材を取り論ずることがどのようなものか、その基礎を学ぶためである。 教科書の1章を1～2回程度の進度で進める。1回の場合は時代の流れの確認の講義、2回ある場合にはこれに加えて関連する研究論文の講読・発表と吟味を行う。春夏学期は前近代を瞥見したうえで、植民地化から第二次世界大戦までの時期を扱う。 予習としては、第一に教科書該当範囲・指定論文の講読、第二に学期に3～5本程度のレジュメ作成（うち1回は授業内発表含む）を課す。復習としては、発表の回で検討した論点をまとめる。この論点を念頭に期末テストの論題が出題される予定。
10C75 9	地域系	アフリカ社会論概説a	アフリカの歴史入門	川口 博子	講義科目	日本語	本講義では、植民地期以前から現在までの社会を動的に理解することをおして、現代アフリカの成り立ちを学ぶ。具体的には、植民地期以前の社会、植民地化とその影響、独立闘争、独立後の社会について、ヨーロッパや国際社会の動向を理解したうえで、アフリカの人びとが主体的にどのような応答をしてきたかを理解することを目指す。 受講生には、日本人がいまなおアフリカに向けた「先入観」に対して常に疑いをもつと同時に、欧米基準/国際基準とは異なるアフリカ社会の在り方や人びとの振る舞いについて、その理由を問い理解しようとしていただきたい。 受講生には、毎回、コメントシートに授業の感想や疑問に思ったことを記入してもらおう。講師は、次回授業の冒頭にて、その内容について回答する。また講義の最後には、質疑応答の時間を設けるが、疑問に思うことがあれば、講義中でも随時質問してもらおうことが望ましい。
10C76 1	地域系	アフリカ言語学概説a	アフリカ社会言語学	米田 信子	講義科目	日本語	アフリカ諸国の言語政策・言語使用・言語態度・歴史背景・政治経済的影響などを学ぶことによってアフリカの言語状況に関する基礎的な知識を習得する。また社会言語学的な視点と考え方を身につける。
10G57 3	地域系	アラブ・イスラーム文化講義Ia	Muslim world and Islamic Culture	アッザブ シンプル ムハンマド アブルイラー	その他	その他	تقديم المصطلحات الأساسية حول الإسلام تعريف الطلاب بالمعاني الأساسية للثقافة العربية الإسلامية تشجيع الطلاب على تحديد العناصر المشتركة في الثقافة الإسلامية شرح مدى تأثير الإسلام في العالم العربي - تقديم الأعمال الأدبية العظيمة في هذه الثقافة -

時間割 コード	小分 類	開講科目名	授業サブタイトル	担当教員	授業形態	開講言語	授業の目的と概要
10G57 4	地域系	アラブ・イスラーム文化講義 lb	Muslim world and Islamic Culture	アッザ シブ ル ムハンマ ド アブルイ ラー		その他	<p>To present basic terms about Islam.</p> <p>To introduce students to fundamental concepts of Arab-Islamic culture.</p> <p>To encourage students to define common cultural elements in Islamic culture.</p> <p>To explain the extent of Islam's influence in the Arab world.</p> <p>To present great literary works in this culture.</p>